大阪ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

大阪支社	〒550	大阪市西区千代崎3-2-95	TEL(06) 586-3200
南部支社	〒590	堺市住吉橋町2-2-19	TEL(0722) 38-1131
北部支社	〒569	高槻市藤の里町39-6	TEL(0726) 71-0361
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2-3-17	TEL(0729) 62-1131
兵庫事業本部	〒650	神戸市中央区東川崎町1-8-2	TEL(078) 360-3100
京都支社	〒600	京都市下京区中堂寺粟田町1	TEL(075) 311-7381
奈良支社	〒631	奈良市学園北2-4-1	TEL(0742) 44-1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1-5	TEL(0734) 31-2481
兵庫西支社	〒670	姫路市神屋町4-8	TEL(0792) 85-2221
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6-57	TEL(0796) 23-2221
滋賀支社	〒525	草津市西大路町5-34	TEL(0775) 62-5311
滋賀東支社	〒522	彦根市大東町12-11	TEL(0749) 22-3131
長浜営業センター	〒526	長浜市南呉服町3-4	TEL(0749) 62-7171
本社・ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市中央区平野町4-1-2	TEL(06) 202-2221

大阪ガス株式会社

おねがい

ガスくさいときは、ガス栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）
大阪ガス支社、サービスセンターにご連絡ください。

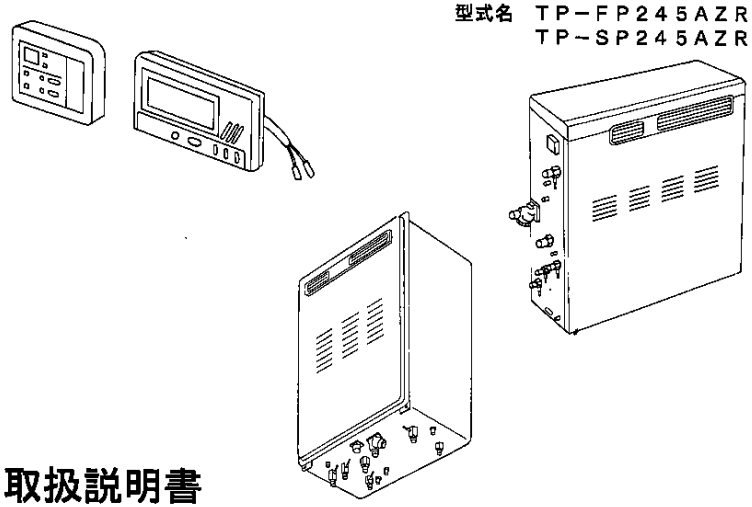
EK7022

屋外設置形（ＢＬ認定品）

ガスふろ給湯器

３１－１４８型
３１－１０６型

型式名　ＴＰ－ＦＰ２４５ＡＺＲ
ＴＰ－ＳＰ２４５ＡＺＲ



取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読み十分に理解したうえで、正しくお使いください。別添の保証書とともに、この「取扱説明書」をいつでもご覧になれるところへ大切に保管してください。
なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。

大阪ガス

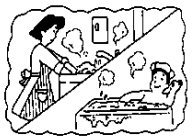
ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガスふろ給湯器（全自動タイプ）をお買い上げいただき、ありがとうございました。

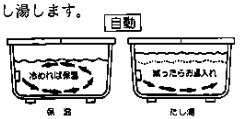
・取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガス支社へご連絡ください。その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、型式名・製造年月をお知らせください。

特長・機能の紹介

■給湯もふろ沸かしもこれ１台でＯＫです。
給湯器とふろがまを一体にした１台で２役のガスふろ給湯器です。

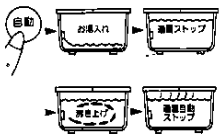


■湯温と水位は機器におまかせ。
（２８ページ参照）
「自動」スイッチを押しておけば、約４時間はお湯が冷めれば自動で保温、お湯が減れば自動でたし湯します。

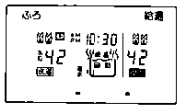


■上下の温度差が少ない。
浴槽のお湯はポンプによって循環しているのでほぼ均一に沸き上がります。

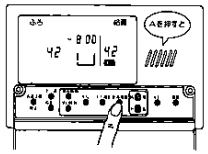
■スイッチ、ポンでおふろの沸き上げができます。
（２４ページ参照）
栓をして、ふたをして「自動」スイッチを押せば、あらかじめセットしておいた湯温、湯量で沸き上げます。お湯の入れ過ぎ、沸かし過ぎがありません。



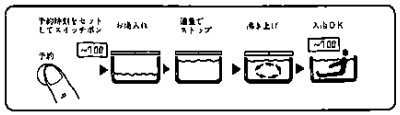
■浴室リモコンは、見やすいカラー蛍光表示。
（１５ページ参照）



■音声ガイドで、リモコン操作は簡単。



■お好きな時刻におふろに入れる予約タイマーがついています。
（３５ページ参照）



（予約完了時刻は目安です。水温や浴槽の大きさにより、前後することがあります。）

■ミキシング機構を内蔵し、給湯断続使用時の湯温は安定性を向上させました。

■機器に洗濯注湯機能が内蔵されています。
（３７ページ参照）
別売の洗濯注湯リモコン（３６－１４８型）を取り付けているお宅で利用できます。

もくじ

・特長・機能の紹介 ―― 1
・安全に正しくお使いいただくために ―― 3
・必ずお守りください ―― 4

使いかた
・各部の名前と参照ページ ―― 10
　機器本体 ―― 10
　浴槽 ―― 11
　全自動ガスふろ給湯器＋洗濯注湯標準設置例 ― 12
　台所リモコン ―― 13
　浴室リモコン ―― 14
　洗濯注湯リモコン ―― 17
・はじめて使うとき ―― 18
・現在時刻の合わせかた ―― 19
・音量調節のしかた ―― 20
・給湯・シャワー ―― 21
・ふろ自動運転 ―― 24
・追いだき運転 ―― 30
・ぬるく運転 ―― 32
・たし湯運転 ―― 33
・ふろの予約時刻の合わせかた ―― 34
・ふろの予約運転 ―― 35
・洗濯注湯 ―― 37
・凍結による破損予防 ―― 48

故障かな？
・故障かな？ ―― 51
　一度確認してください ―― 51
　次のような場合は故障ではありません ―― 52
　浴室リモコンにアラーム番号が表示されたとき ―― 53
　安全装置の種類とその働き ―― 54

点検・手入れなど
・点検とお手入れ ―― 55
・寸法図 ―― 57
・仕様 ―― 60
・アフターサービスについて ―― 62

安全に正しくお使いいただくために

表示について

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを示しています。

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を示しています。

一般的な禁止　火気厳禁　触れるな　分解禁止

必ず行う　電源プラグを抜け　アースを接続せよ

ご注意 注意していただきたい内容を示しています。

一口メモ 知っておいてほしい内容を示しています。

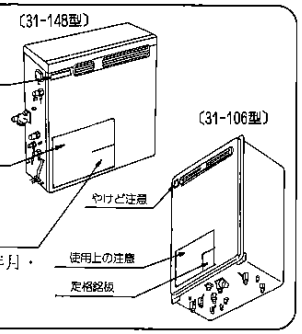
（○○ページ） 文章中の（　）内のページは参照ページを示しています。

機器本体の表示について

やけど注意
排気口や周囲が高温になるためやけど注意を表示しています。

使用上の注意
使用上の注意について表示しています。

定格銘板
型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。



必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

⚠危険

■屋外用ガス機器

●この機器は屋外用ですので絶対に屋内に設置しない。
不完全燃焼を起こし大変危険です。

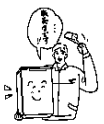
⚠警告

■機器設置（および付帯工事）

禁 止

●この機器は屋外設置形ですので、増改築などによって屋内状態にしない。また、排気口の前方に物を置いたり、設置後機器を波板などで囲いをしない。不完全燃焼の原因や火災のおそれがあります。

●機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用する。設置工事に不備があると事故の原因となります。



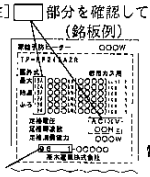
■ガス漏れ時の処置

●ガス漏れに気づいたときは全ての処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気機器（換気扇その他）のスイッチの「入」・「切」や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない。
①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉める。
②お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガス支社へ連絡する。

火気厳禁

■使用ガス・使用電源について

［注］□部分を確認してください。



ガス種・電源を確認

●銘板（機器正面に貼付）に表示してあるガス（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）以外では使用しない。表示以外のガスを使用すると不完全燃焼および爆発点火の原因となります。

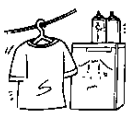
●この機器はＡＣ１００Ｖ、６０Ｈｚ用です。
お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

●転居されたときにも、供給ガスの種類と機器銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

製造年月を表示しています。
例）９６・１→１９９６年１月の製造

■火災予防

［可燃物に注意］



●機器および排気口の周囲に燃えやすいものを置かない。
火災の原因となります。

●排気口は洗濯物などでおおわない。
不完全燃焼の原因となります。

禁 止

［スプレー缶厳禁］

●機器の周囲にスプレー缶を置かない。
熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。

［引火のおそれがあるものの使用禁止］

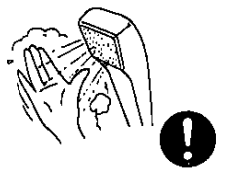
●機器の周囲ではガソリン、ベンジン、スプレーなど引火のおそれのあるものを使用しない。
引火・爆発の原因となるおそれがあります。

禁 止

必ずお守りください

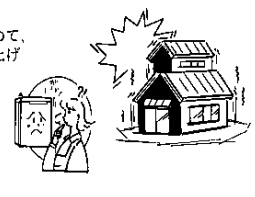
⚠警告

■給湯・シャワーを使うとき



- お湯を止めたあとに再使用するときや、お湯の量を急に少なくしたとき、あるいは万一、機器の故障の際には一瞬、あついお湯が出ることがあります。やけどの危険性がありますので、出始めのお湯は手や体にかけない。
- シャワーを使うときに最初にあついお湯が出ることがありますので十分注意する。
- シャワーを使うときは、あらかじめ手で温度を確かめてから使う。やけどのおそれがあります。
- シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。突然、熱湯や冷水が出て、熱湯でやけどしたり冷水でびっくりすることがあります。

■異常時の処置



- 万一、異常な燃焼、臭気、異常音を感じたときはすぐ使用をやめて、運転スイッチを「切」にし、ガス栓・給水元栓を閉め、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガス支社へ連絡する。
- 地震、火災などの緊急のときは使用をやめ、ガス栓を閉める。

■子供に対する注意

- 浴槽の循環口の付近で水に潜ったりしない。思わぬ事故につながることがあります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

⚠注意

■用途についての注意

- 一般家庭での台所・シャワー・洗面所などへの給湯、おふろ沸かし以外の用途には使用しない。
  思わぬ事故の原因となることがあります。

■やけどに注意

- 機器の使用中、または使用後しばらくは排気口とその周辺には絶対に手で触れたりしない。高温になっていますので、やけどの危険性があります。特に小さなお子様のおられるご家庭ではご注意ください。

■空だき防止

- 追いだきの際は必ず浴槽の循環口より上に湯（水）が入っていることを確かめる。水位が循環口より低いときは、機器の故障などの原因となることがあります。

⚠注意

■入浴時の注意

- 入浴の際は、あらかじめ手で湯温を確かめてから入浴する。
  やけどのおそれがあります。

お願い

■市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。（わからないときは、販売店に確認してください。）
- 市販品の湯冷め防止器などは、使用しないでください。
- 混合水栓には、さまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。
- やけど対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をおすすめします。

■入浴時の注意

- 浴槽の循環口をタオルなどでふさがないでください。循環不良でおふろ沸かしができなくなったり、機器の故障の原因になります。

■リモコンについて

- リモコンは、分解しないでください。誤動作や故障の原因となります。
- 浴室リモコンは、防水タイプですが故意に水をかけないでください。台所リモコンには、水をかけないでください。
- リモコンは子供がいたずらしないように注意してください。

■凍結についての注意

- 冬期には機器内の水が凍って機器が破損することがありますので凍結のおそれがあるときは４８ページの「凍結による破損予防」にしたがって処置をしてください。

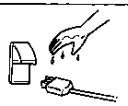
■凍結したとき

- 機器や配管が損傷しますと高額の修理費がかかります。（有料）
- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 再使用の場合は、凍結がとけた後、全ての給湯栓から水が出ることを確認してください。機器および配管から水漏れがないことを確認後、１８ページ「はじめて使うとき」の項以下の操作を行ってください。

必ずお守りください

ご注意

■電気事故防止



●電源プラグは、濡れた手で絶対にさわらないでください。
感電するおそれがあります。
●電源プラグの差し込みは確実に行ってください。プラグにほこりが付着していたり、差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります。
●電源コードを引っぱってプラグを抜かないでください。コードを引っぱると断線して発熱や発火の原因となることがあります。
●この機器は、接地工事（アース）が必要ですので確認してください。

■水の使用についての注意

●機器内に長時間たまった水とえば、朝一番の使い始めのまだぬるいお湯は飲まないで雑用水としてお使いください。
●洗濯注湯用蛇口は、浴槽の残り湯も使用しますので、上水として飲用や調理等には絶対に使用しないでください。

■雷が発生しているときの注意

●激しい雷により、一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。電源プラグをコンセントから抜きますと損傷を防止できます。
●５分以上電源プラグをコンセントから抜いた場合は、リモコンの各設定（給湯湯温・ふろ湯温・水位・現在時刻・予約時刻等）を行い、表示を確認した後ご使用ください。

■雷が鳴った後、機器が作動しないとき

●落雷の際、お湯が出なくなった場合は機器内の漏電リレーが作動したことが考えられます。このようなときには、電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガス支社へご連絡ください。

■停電時や電源プラグを抜いたとき

●この機器は停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
停電時は給湯栓を閉めてください。
●再通電したときは、リモコンの設定（給湯湯温・ふろ湯温・水位・現在時刻・予約時刻等）を行い、表示を確認した後ご使用ください。
（５分以上の停電のときは再設定が必要です。）

ご注意

■入浴剤や洗剤についての注意

●強酸、強アルカリの洗剤および、硫黄、酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器等の腐食原因となる場合がありますので使用しないでください。
入浴剤の説明文および含有成分等を十分確かめ、機器への悪影響がないものをご使用ください。
●乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音を発生したり、フィルターやお湯の通路にたまって動作不良を起こすものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸騰を起し、異音を発生させるものもあります。このような入浴剤は、ご使用を避けてください。
●薬草やゆずを入れたり、薬草入り入浴剤をいれた場合は、薬草などがフィルターや機器内部につまってしまいますのでおやめください。

■用途についての注意

●本製品は家庭用ですので業務用のような使用をすると機器の寿命が著しく短くなります。
●ソーラーとは絶対に接続しないでください。夏期にソーラーの水温が高くなったときはお湯の制御ができなくなり、高温のお湯がそのまま出ます。やけどの危険性が高く、また機器の故障原因になります。

■日常の点検・お手入れ

●日常の点検、お手入れをしてください。（詳しくは５５～５６ページをご覧ください。）
●故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このとき、ご自分で修理なさらずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガス支社へご連絡ください。

■長期間使用しない場合

●５０ページの機器内の水を抜く方法により、水抜きを行ってください。
水が長い間流れないと一瞬、濁ったお湯が出たり、冬期には、凍結するおそれがあります。

■外出、就寝前のガス栓確認

●お出かけやおやすみになるときは、ガス栓を閉めてください。

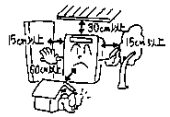
■ガス事故防止

●点火消火の確認
使用時の点火、使用後の消火の他、使用中も正常に燃焼していることを確認してください。

必ずお守りください

ご注意 **設置状態の確認**

■可燃物との離隔距離



●機器を設置する場所の周囲の壁、天井などが防火上安全なものであるか、または防火上有効な間隔をとることができる場所に設置してください。

■設置場所について

●設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音（燃焼音、燃焼用送風機、ポンプ回転音等）で迷惑にならない場所に設置してください。
●足場などを組まなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。

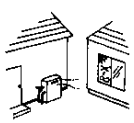
■給排気について

●機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となり危険です。

■塩ビ管の使用について

●給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。
機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。

■排気ガス



禁 止

●排気ガスが直接建物の外壁やアルミサッシなどに当たらないよう、施工してください。外壁が変色したり、アルミサッシが腐食したりするおそれがあります。
●排気口からの排気ガスによって、加熱されて困るもの（危険物・植物・ペットなど）を置かないでください。

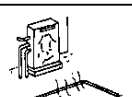
■地下水、井戸水の注意

●地下水や井戸水を使用される場合は施工前に十分、水質を確認してください。水質によっては配管や機器を腐食させることがあります。

■塩害

●海岸近くに設置する場合、機器が塩分を多量に含んだ雰囲気にさらされるときは、必要な防護処置をとってください。
機器が腐食し、故障の原因になります。

■ほこり

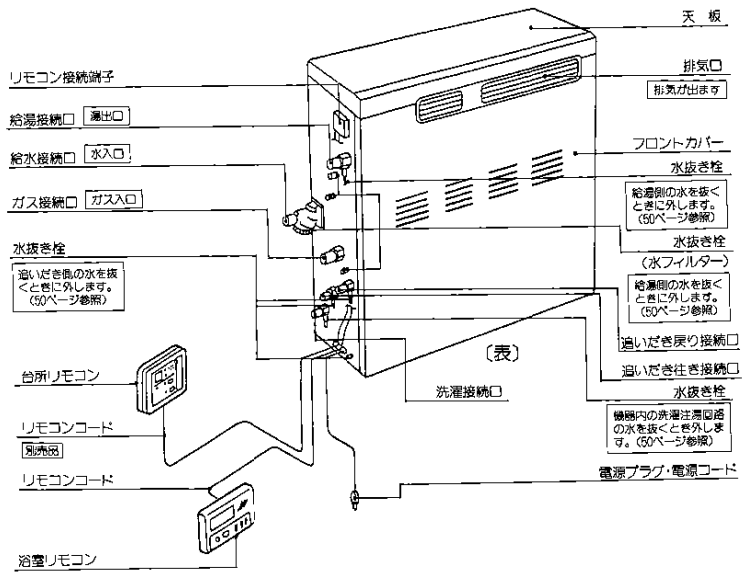


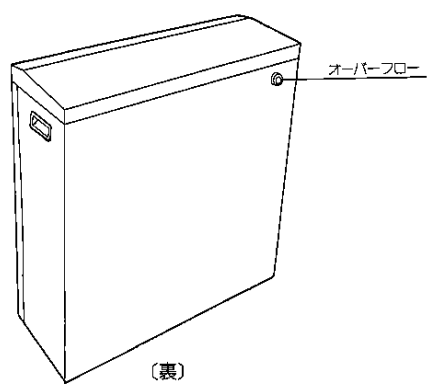
禁 止

●砂や綿などのほこりの立ちやすい場所には設置しないでください。
ほこりが給気口をふさいだり、燃焼用の送風機の性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。

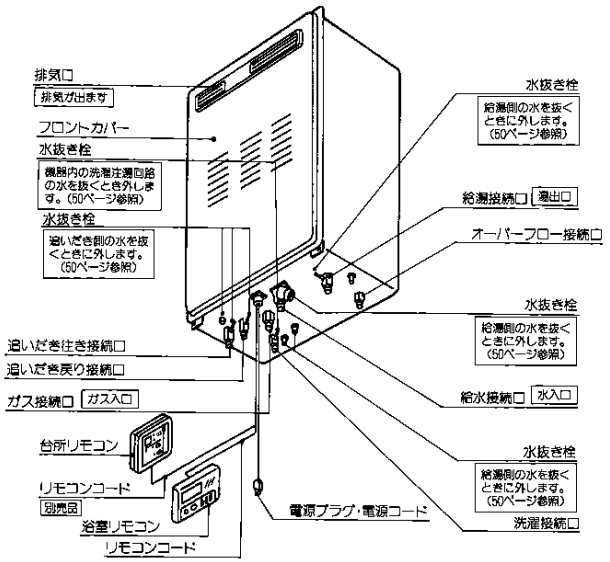
各部の名前と参照ページ

機器本体［３１－１４８型］

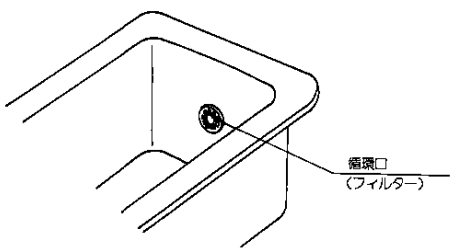




機器本体［３１－１０６型］

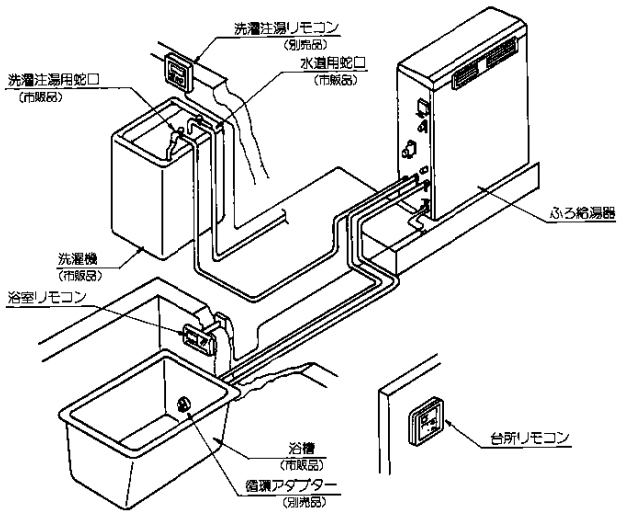


浴　槽

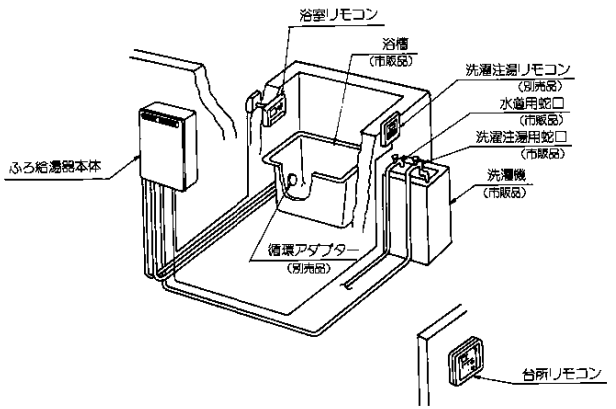


全自動ガスふろ給湯器＋洗濯注湯システム標準設置例

■据置型給湯器［３１－１４８型］の場合

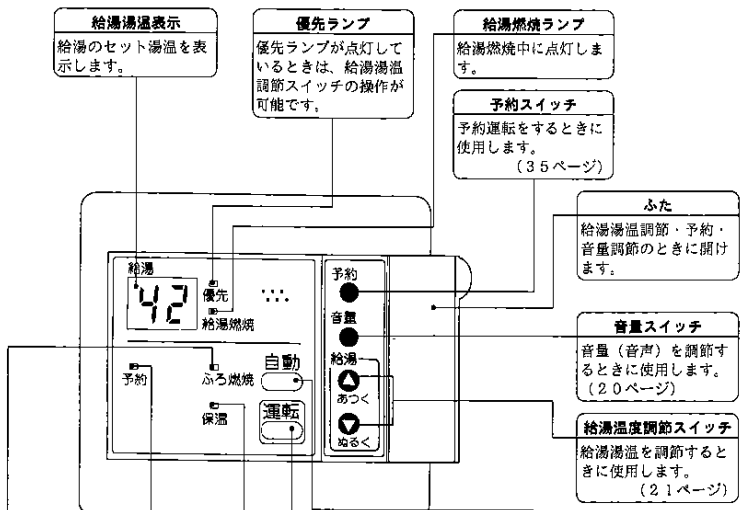


■壁掛型給湯器［３１－１０６型］の場合



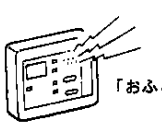
台所リモコン（付属品）

●リモコンの画面表示は説明のためで、実際の運転状態を示すものではありません。
●台所リモコンには、「ふろ沸き上がりコール」などの音声情報がついています。



［呼出しコール］

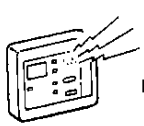
・おふろで呼出スイッチを押すと「おふろで呼んでいます。」と音声が流れます。



「おふろで呼んでいます。」

［ふろ沸き上がりコール］

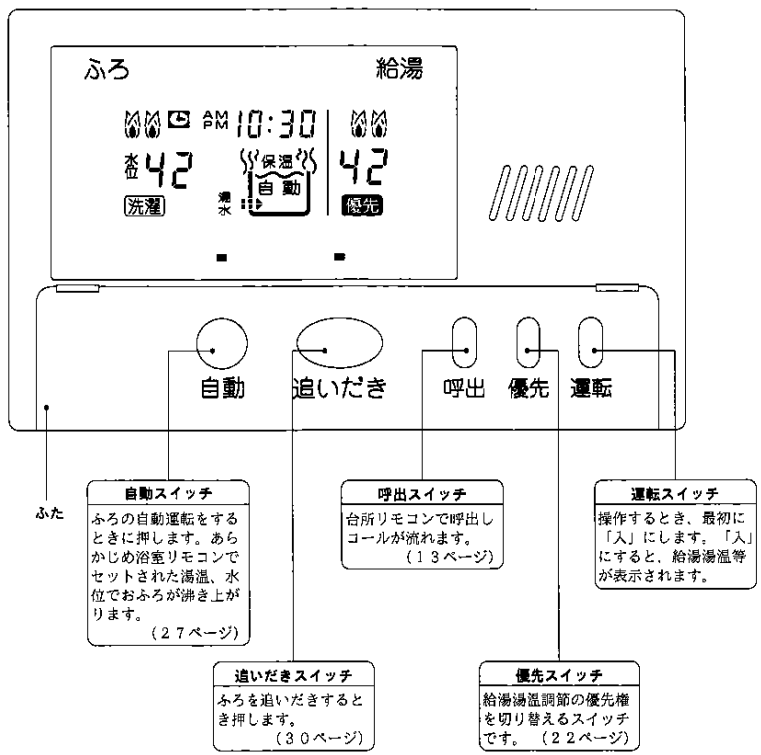
・自動運転・予約運転で設定したふろ温度まで沸き上げると「おふろが沸きました。」と音声が流れます。



「おふろが沸きました。」

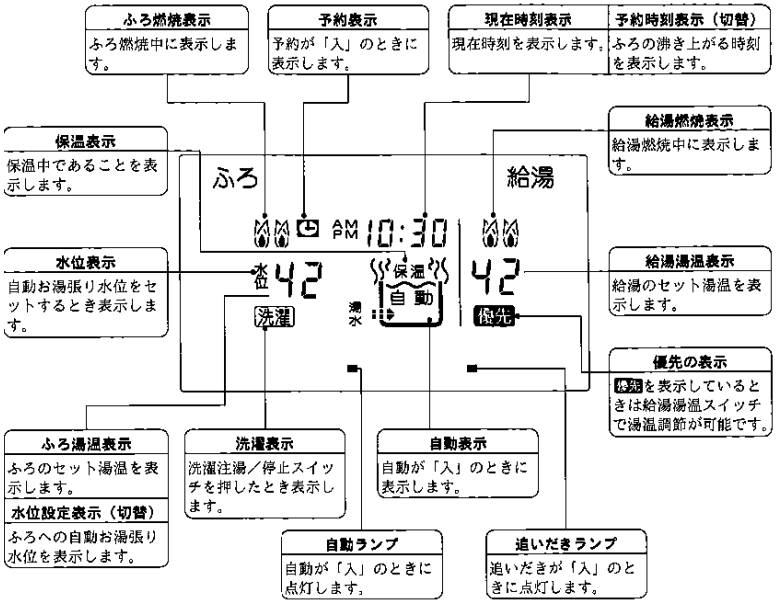
浴室リモコン（付属品）

●リモコンの画面表示は説明のためで、実際の運転状態を示すものではありません。
●浴室リモコンには、操作方法を知らせる音声ガイドが内蔵されています。
●通常はふたは確実に閉じた状態にしておいてください。



浴室リモコンの画面表示内容

●リモコンの画面表示は説明のためで、実際の運転状態を示すものではありません。

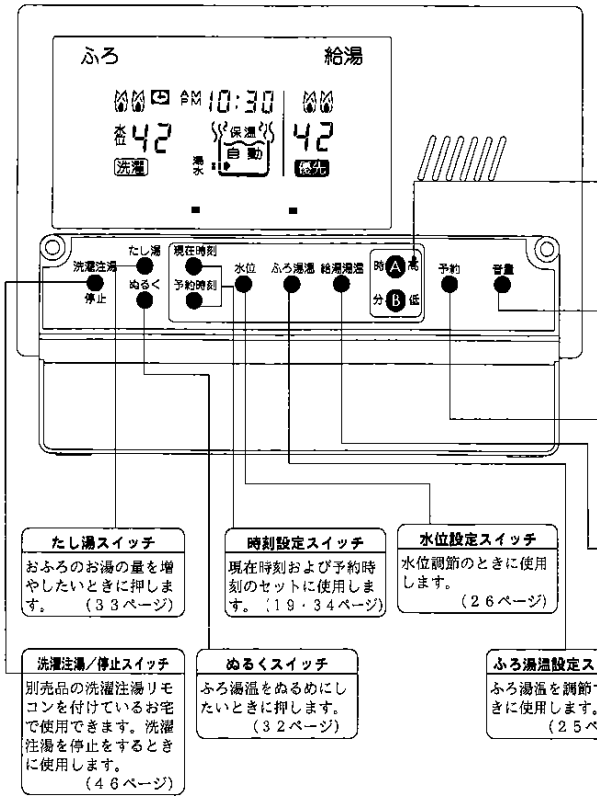


補足説明		画面表示	操作説明の図
ふろ燃焼・給湯燃焼時	燃焼中は、左右に動きます。		
追いだき・たし湯動作時	上の矢印が動きます。		
自動運転の給湯動作時	上の矢印が動きます。		
ぬるくの動作時	下の矢印が動きます		
自動運転の保温動作時	湯気が動きます。		

浴室リモコンのふたを開けた状態

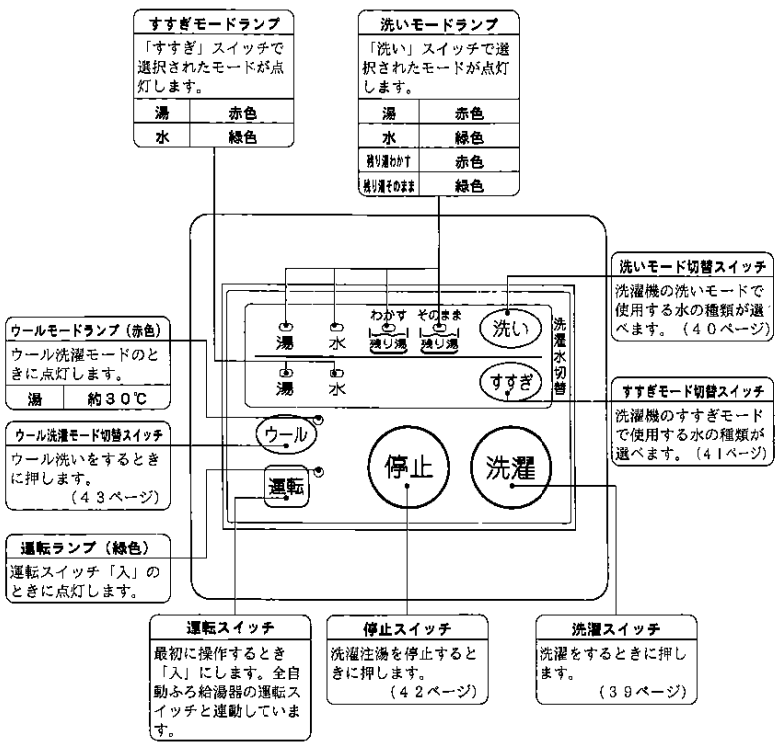
●リモコンの画面表示は説明のためで、実際の運転状態を示すものではありません。

●通常はふたは確実に閉じた状態にしておいてください。



洗濯注湯リモコン［３６－１４８型］（別売品）

●洗濯をするときに使用します。
※洗濯機の使用方法につきましては、洗濯機の取扱説明書をお読みください。
※洗濯注湯リモコンの使用方法は、３８～４７ページをお読みください。
●運転ランプ点滅中は洗濯できません。
洗濯注湯リモコンの運転ランプ点滅中は、洗濯（注湯）ができないことのお知らせです。運転ランプが点灯していることを確認してからご使用ください。
（運転ランプ点滅については、４５ページをご覧ください。）

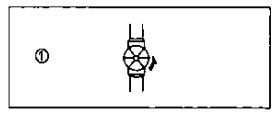


はじめて使うとき

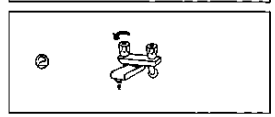
機器および機器周辺の点検・確認を行ってください。（５５ページ）

1 初めてお使いになるときはまず…

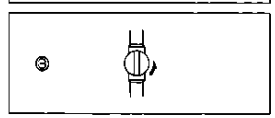
1．給水元栓を全開にします。
３１－１４８型は機器の側部
３１－１０６型は機器の下部



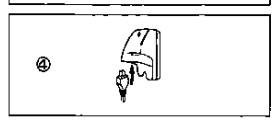
2．給湯栓を開け、水の出ることを確認してから閉めます。



3．ガス栓を全開にします。
３１－１４８型は機器の側部
３１－１０６型は機器の下部



4．電源プラグをコンセントに差し込みます。（機器の周辺）

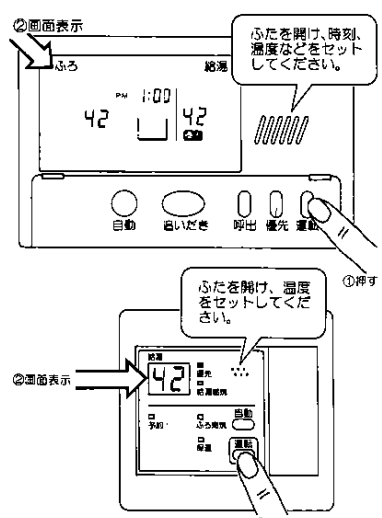


2 リモコンの「運転」スイッチを押し「入」にします。

●リモコンから「音声ガイド」が２回流れます。

この音声ガイドは、はじめて電源を入れたときや停電復帰後などにより５分以上通電が　止まった後に「運転」スイッチを押したときだけ流れます。

●お買い上げいただいたときの給湯湯温、ふろ湯温は、４２℃です。

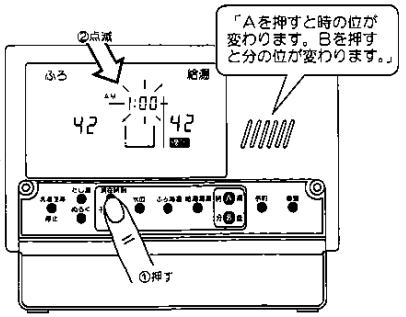


現在時刻の合わせかた

「運転」スイッチが「切」でも操作できます。

1 浴室リモコンのふたを開け

「現在時刻」スイッチを押します。



●現在時刻表示が点滅します。
●浴室リモコンの「音声ガイド」が2回流れます。

2 現在時刻を合わせます。

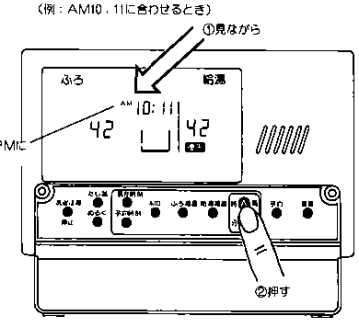
AM（午前）・PM（午後）に注意して押してください。
スイッチを押し続けると連続的に数字が変わります。

1．浴室リモコンの
「時 Ⓐ 高」スイッチを押して**時の位**を合わせます。
「分 Ⓑ 低」スイッチを押して**分の位**を合わせます。

2．**「現在時刻」スイッチを押します。**
●時刻表示の点滅が止まります。

3．**ふたを確実に閉じます。**

（例：AM10：11に合わせるとき）



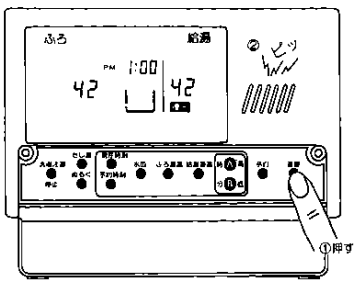
音量調節のしかた

●リモコンからは、操作方法を説明する音声とブザーが流れます。音声の音量は、浴室リモコン、台所リモコンそれぞれで独立していますのでお好みに応じて、それぞれ調節してください。
●画面に表示が出ていること（「運転」スイッチが「入」）を確かめます。表示が出ていないときは「運転」スイッチを押します。

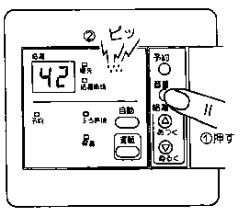
1 リモコンのふたを開け

1．**「音量」スイッチを押します。**

●1回押すごとに音量がかわります。
●音量判断のための「ピッ」音が鳴ります。



大 『ピッ』
↓
中 『ピッ』
↓
小 『ピッ』
↓
無音・・・ 「音声ガイド」は、流れませんが、台所リモコンの呼出しコールは流れます。



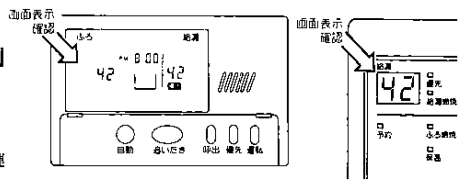
2．**ふたを確実に閉じます。**

自動運転終了時の浴室リモコンのブザーと台所リモコンのふろ沸き上がりコール及びスイッチ操作時の「ピッ」音の音量は、調節できません。

給湯・シャワー

●初めてお使いのときや、電源プラグを抜いたことにより５分以上通電が止まった後、再通電したときは給湯湯温表示が４２℃となります。再度、セットしなおしてください。
●通常、給湯湯温は「運転」スイッチを「切」にしても記憶されていますが、給湯湯温が６０℃に設定されていた場合はやけど等の危険防止のため再度、「運転」スイッチを入れたとき、自動的に５５℃に設定が変更されます。
●６０℃の湯温設定でのやけど防止のため、サーモスタット付混合水栓の使用をおすすめします。
●表示している湯温と給湯栓から出る湯温は配管の長さや外気温等により、必ずしも一致しません。目安としてお使いください。
●自動運転中に出湯すると、ふろの設定湯温で出湯されます。自動運転が終了（音声でお知らせします。）した後、再度出湯したときに給湯の設定湯温に戻ります。

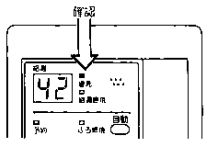
1 給湯湯温が表示されていること（「運転」スイッチが「入」）を確かめます。



●表示が出ていないときは、「運転」スイッチを押します。

2 給湯湯温調節をします。

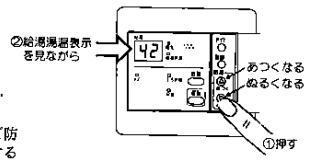
■台所リモコンで湯温調節をしたいとき



1．「優先ランプ」が点灯していることを確認します。

●「優先ランプ」が点灯していないときは、台所リモコンの「運転」スイッチを「切」にして再度「入」にします。

2．「給湯湯温調節」スイッチを押し、湯温設定します。

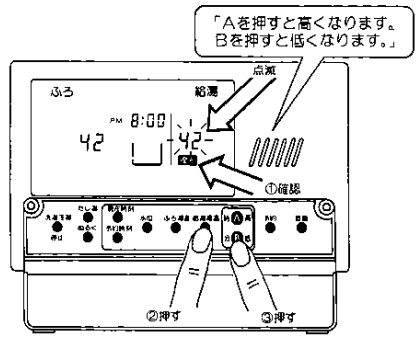


●湯温は37・38・39・40・41・42・43・44・45・46・47・50・55・60℃の１４段階設定です。
●５５℃以下の湯温で給湯・シャワー使用中は、やけど防止のため６０℃には設定できません。６０℃に設定するときは、一旦出湯を停止してから行ってください。設定するときは、他の場所で使われていないことを確認してから行ってください。

⚠警告
●シャワー使用中に優先の変更、および台所リモコンでの給湯湯温調節をしないでください。シャワーの温度が急に変わって危険です。

ご注意
●「優先ランプ」が点灯していないときに「給湯湯温調節」スイッチを押すと『「運転」スイッチを入れ直してから、温度をセットしてください。』と音声が流れます。
●自動運転中に「給湯湯温調節」スイッチを押すと警告音「ピッ…」（ピッが５回）が鳴ります。

■浴室リモコンで湯温調節をしたいとき



1．優先 が表示されていることを確認します。

●優先 が表示されていないときは、浴室リモコンの「優先」スイッチを押します。

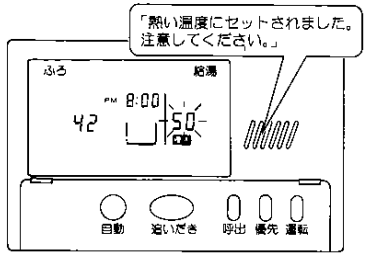
リモコンのふたを開け

2．「給湯湯温設定」スイッチを押します。

●給湯湯温表示が点滅し、音声ガイドが２回流れます。

3．調節スイッチを押して、湯温設定します。

●湯温は37・38・39・40・41・42・43・44・45・46・47・50・55・60℃の１４段階設定です。
●５５℃以下の湯温で給湯・シャワー使用中はやけど防止のため６０℃には設定できません。６０℃に設定するときは、一旦出湯を停止してから行ってください。設定するときは、他の場所で使われていないことを確認してから行ってください。
●５０℃以上に設定すると音声ガイドが２回流れます。台所リモコンで５０℃以上に設定したときも音声ガイドが流れます。



4．「給湯湯温設定」スイッチを押します。

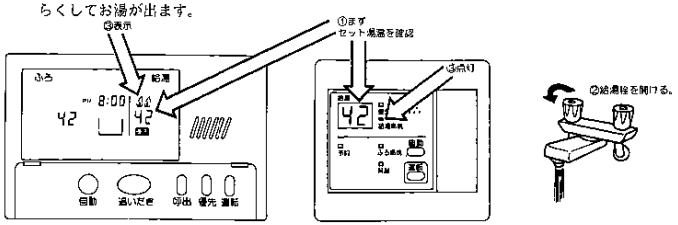
●給湯湯温表示の点滅が止まります。

5．ふたを確実に閉じます。

ご注意
●浴室でシャワーを使用するときは、浴室リモコンに 優先 を表示させ、給湯湯温表示を確認してください。浴室リモコンに 優先 が表示されているときは、台所リモコンで給湯湯温の調節はできません。
●優先を切り替えたとき、切り替え前のセット湯温が６０℃であると、５５℃に自動的にセットされます。
●自動運転中に「給湯湯温設定」スイッチを押すと警告音「ピッ…」（ピッが５回）が鳴ります。
●設定温度が５５℃以下で給湯使用中に、６０℃に温度を調節することはできません。６０℃に調節しようとする警告音「ピッ・・・・」（ピッが５回）が鳴ります。

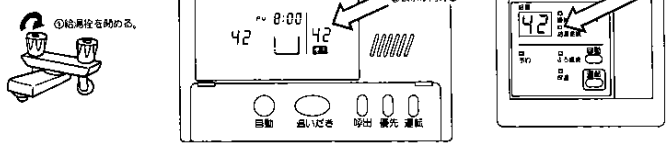
2 給湯栓を開けます。

●点火すると「給湯燃焼表示」（🔥🔥）が表示され（台所リモコンは、給湯燃焼ランプが点灯）しばらくしてお湯が出ます。



3 給湯栓を閉めます。

●お湯が止まると「給湯燃焼表示」（🔥🔥）（台所リモコンは、給湯燃焼ランプ）が消えます。
（他の給湯栓で使用中だったり、自動で浴槽にお湯を入れているときは消えません。）
●給湯栓を閉めても機器の燃焼用ファンモーターがしばらく回転しますが、故障ではありません。



優先切替について

●危険防止のため、給湯湯温を調節できるリモコンは、どちらか一方に限られます。
●湯温調節ができるリモコンに優先があります。
●優先は、「優先」スイッチを押すごとに、浴室リモコンまたは、台所リモコンに切り替ります。
●浴室リモコンで、「運転」スイッチを「入」にすると、浴室リモコンに 優先 が表示され浴室リモコンで湯温の設定ができます。
●台所リモコンで、「運転」スイッチを「入」にすると、台所リモコンに「優先ランプ」が点灯し、台所リモコンで湯温の設定ができます。

⚠警告

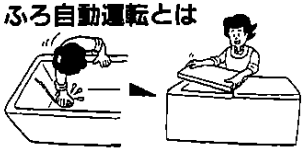
●セットしてある湯温が高温になっている場合もありますのでシャワー等をお使いのときは、手で湯温を確認してからお使いください。

ご注意

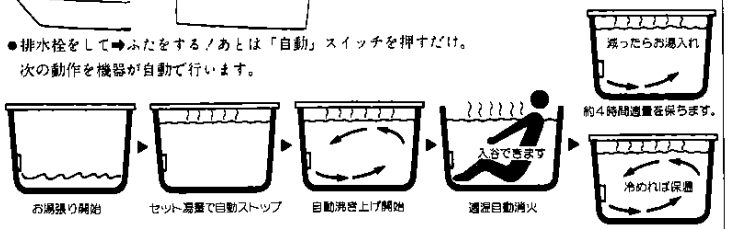
●使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまではしばらくお湯は出ません。
（配管長さにより、お湯が出るまでの時間が異なります。）
●給湯栓を絞りすぎると（2．5ℓ/分以下）熱いお湯が出たり、消火することがあります。
●夏期水温が30℃近くなると、低温にセットしても給湯栓から出るお湯の量が少ない場合には湯温が高くなります。このような場合には給湯栓をさらに開けて湯量を多く出すか、水と混合してお使いください。
●「運転」スイッチを「切」にした後、再度、「運転」スイッチを「入」にしたリモコンに優先表示または「優先ランプ」が点灯し、優先を移すことができます。ただし、この方法で優先を切り替えると、他の機能の運転、たとえばふろの自動運転や、追いだき運転、洗濯などが運転中だった場合、それらすべてが停止してしまいますので注意してください。優先切替は、浴室リモコンの「優先」スイッチで操作することをおすすめします。

ふろ自動運転

ふろ自動運転とは



●排水栓をして➡ふたをする！あとは「自動」スイッチを押すだけ。
次の動作を機器が自動で行います。



●お湯の入れ過ぎや沸し過ぎがなく、上下均一に沸き上がります。

1 運転前の準備をします。

1．排水栓をします。

●おふろを沸かす前に必ず、排水栓をしてください。

2．浴槽のふたをします。

●この機器は浴槽にふたをしたままお湯張りができます。

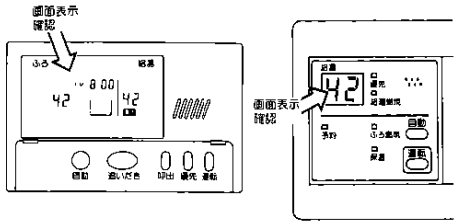
ご注意

●排水栓をしわすれると、自動運転を開始してから約40分後浴室リモコンに「032」が点滅（台所リモコンは、「03」と「ふろ燃焼ランプ」が点滅）し、運転が停止します。排水栓をして、一旦、「運転」スイッチを「切」にし、約5秒後に再度、「運転」スイッチを「入」にして自動運転を行ってください。

●台所リモコンではふろ湯温と水位の設定はできません。浴室リモコンで行ってください。
●初めてお使いのときや、電源プラグを抜いたことにより５分以上通電が止まった後、再通電したときはふろ湯温表示が４２℃、水位は４０となります。再度セットしなおしてください。
●表示する湯温と表示する水位は、水温や水圧により実際とは異なる場合があります。目安としてお使いください。

2 給湯湯温が表示されていること（「運転」スイッチが「入」）を確かめます。

●表示が出ていないときは、「運転」スイッチを押します。



3 ふろ湯温を設定します。

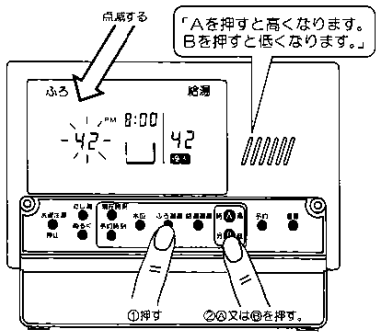
●２回目以後は記憶されますので、セットする必要はありません。

１．ふたを開け「ふろ湯温設定」スイッチを押します。

●「ふろ湯温表示」が点滅します。
●音声ガイドを２回繰り返します。

２．調節スイッチを押して、湯温設定します。

ふろ湯温を高くする→「時Ⓐ高」を押す。
ふろ湯温を低くする→「分Ⓑ低」を押す。



調節範囲	３７℃～３９℃	４０℃～４３℃	４４℃～４８℃
	１℃ずつ		
ご使用目安	ぬるい	標　準	あつい

３．「ふろ湯温設定」スイッチを押します。

●「ふろ湯温表示」の点滅がとまります。

4 ふろ水位を設定します。

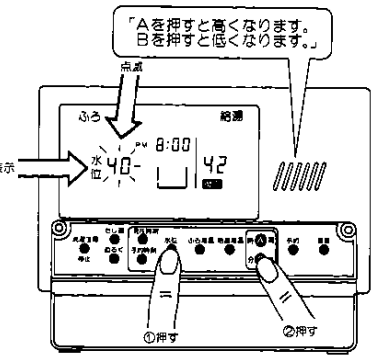
●２回目以後は記憶されますので、セットする必要はありません。

１．ふたを開け「水位」スイッチを押します。

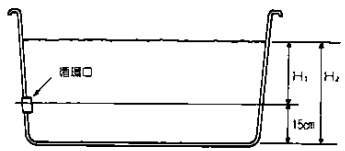
●「水位」の表示がされ、水位の値が点滅します。
●音声ガイドが２回流れます。

２．調節スイッチを押して水位設定します。

水位を高くする→「時Ⓐ高」を押す。
水位を低くする→「分Ⓑ低」を押す。



水位設定について



３．「水位」スイッチを押します。

●変更された水位の値が点灯し、ふろ湯温表示に戻ります。

４．ふたを確実に閉じます。

画面表示の値	
浴槽の底からの水位（H２）	循環口からの水位（H１）
５４	３９
５２	３７
５０	３５
４８	３３
４６	３１
４４	２９
４２	２７
４０	２５
３８	２３
３６	２１
３４	１９
３２	１７
３０	１５

水位を示す数値（H１）（H２）はおよその目安です。
水温や水圧により異なりますのでご了承ください。

一口メモ

●設定は記憶されますので、２回目以後、セットする必要はありません。

ご注意

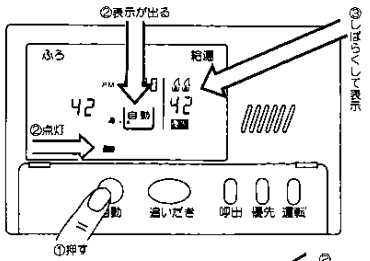
●水位を示す数値（H寸法）はおよその目安です。水温や水圧によりますのでご了承ください。
●（H１）（H２）は循環口の中心が浴槽の底から１５cmを目安にしてあります。循環口の取付位置は浴槽の種類、材質および施工時の状況等により異なりますのでご了承ください。
●浴槽の種類や施工条件によっては、あまり多めにセットするとあふれることも考えられます。最初は、初期設定（４０cm）で自動運転させ、そのときの実際の水位を確認してから、お好みの水位に増減することをおすすめします。

5 「自動」スイッチを押します。

●台所リモコン、浴室リモコンのいずれでも操作できます。

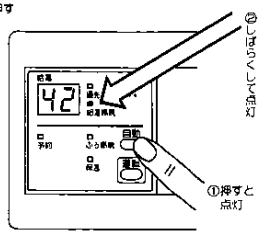
A 浴室リモコン

●「自動ランプ」が点灯し、画面に[自動]が表示され、しばらくして「給湯燃焼表示」（🔥🔥）が表示されます。
●おふろの循環口からお湯が出てきます。



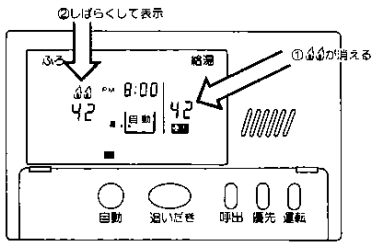
B 台所リモコン

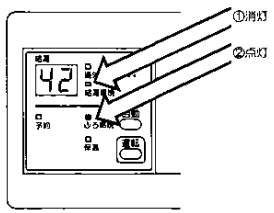
●スイッチを押した後「自動でおふろを沸かします。」「おふろの栓をしましたか。」と音声ガイドが２回流れます。
●「自動」スイッチが点灯し、しばらくして「給湯燃焼ランプ」が点灯します。
●おふろの循環口からお湯が出てきます。
●設定水位に近づくと台所リモコンから「もうすぐ、おふろに入れます。」と音声ガイドが２回流れます。



1．設定水位までお湯張りしますと自動的に循環口から出ていたお湯が止まり、おふろの湯を循環して沸かし上げます。

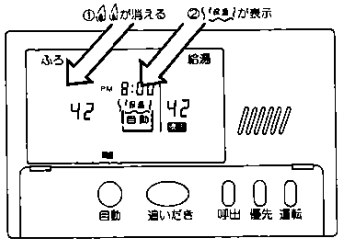
●このとき「給湯燃焼表示」（🔥🔥）（浴室リモコン）、「給湯燃焼ランプ」（台所リモコン）が消えます。そして、「ふろ燃焼表示」（🔥🔥）（浴室リモコン）が表示、「ふろ燃焼ランプ」（台所リモコン）が点灯します。

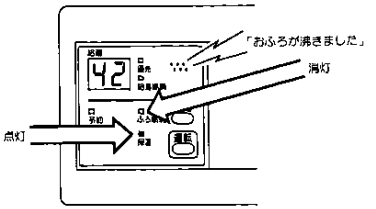




2．浴室リモコン、台所リモコンが沸き上がったことを知らせます。

●ふろ湯温まで沸き上がりますと「ふろ燃焼表示」（🔥🔥）（台所リモコンは、ふろ燃焼ランプ）が消えます。
●浴室リモコンからブザーが鳴り、台所リモコンからは、「おふろが沸きました」と音声ガイドが２回流れます。
●同時に「保温表示」が表示されます。これは、ふろの湯温と湯量を機器が見はっていることを表わしています。





3．自動的に約４時間水位と湯温を保ちます。

（浴室リモコンは「自動ランプ」点灯 [保温] 表示。台所リモコンは、自動スイッチ・「保温ランプ」点灯。）

●沸き上がりから約４時間は３０分ごとにポンプが回り、湯温を検知し、湯温が下がっていると自動的にセット湯温まで沸かし上げ保温します。
（ときどき「ふろ燃焼表示」（🔥🔥）「ふろ燃焼ランプ」が表示されます。）
また湯量がセット水位より減ると自動的に循環口からお湯が出て、セット水位までたし湯します。
●約４時間経過すると自動的に停止します。
浴室リモコンは「自動ランプ」消灯、[保温] 表示が消えます。
台所リモコンは、自動スイッチ・「保温ランプ」が消灯します。

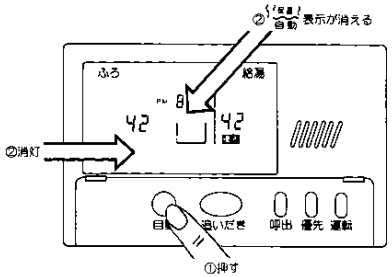
ご注意

●自動運転のお湯張り中に台所等でお湯を使うと、ふろ設定温度のお湯が出ます。
●自動お湯張り中、循環口からお湯が出たり止まったりし、また、リモコンの給湯燃焼表示（🔥🔥）が表示したり消えたりします（台所リモコンは給湯燃焼ランプが点灯したり、消灯したりします）が異常ではありません。
●自動お湯張り中、他で給湯栓を開くと、お湯は両方に分配されますので、お湯張り時間は長くなります。

6 自動運転・保温運転をやめたいとき

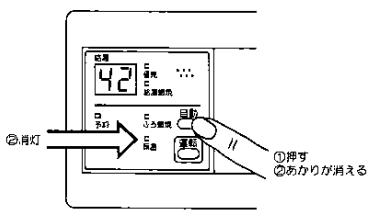
1．「自動」スイッチを押します。

●どちらのリモコンでも操作できます。
●「自動ランプ」が消灯し、「自動」表示が消えます。（浴室リモコン）
●台所リモコンは自動スイッチ・「保温ランプ」が消灯します。



7 沸かし直し

●前日までの残り湯を沸かし直したいときは、「ふろ自動運転」とまったく同じ手順で行います。
セット水位より湯量が減っている場合は、セットした水位までたし湯したうえでセット湯温に沸かし上げます。



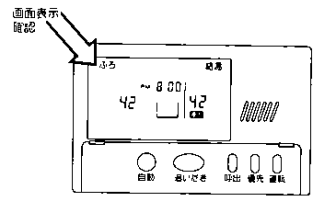
追いだき運転

追いだき運転とは
●入浴時、おふろのお湯がぬるくなって、もっと熱くしたいときに操作します。

1

リモコン画面に
給湯湯温が表示されていること（「運転」スイッチが「入」）を確かめます。

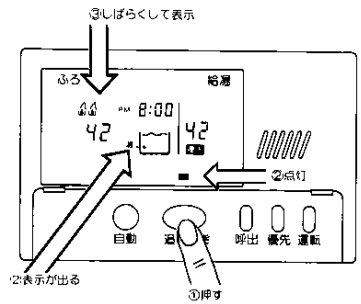
●表示が出ていないときは、「運転」スイッチを押します。



2

浴室リモコンの
「追いだき」スイッチを押します。

●画面に「追いだきランプ」が点灯し、「ふろ燃焼表示」（）が表示されます。（浴室リモコン）台所リモコンは、「ふろ燃焼ランプ」が点灯します。

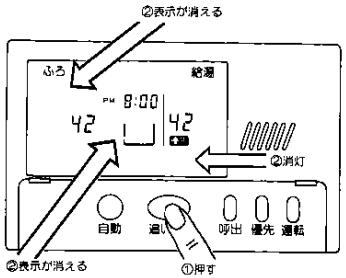


ご注意
●浴槽の循環口より上に湯（水）があるとき操作してください。
●自動運転のお湯張り中は、追いだき運転はできません。

3 お好みの湯かげんになったら

「追いだき」スイッチを押します。

●「追いだきランプ」が消灯し、「♨」と「ふろ燃焼表示」（🔥🔥）が消えます。（浴室リモコン）台所リモコンは、「ふろ燃焼ランプ」が消えます。



●停止の操作をしない場合は、自動的に停止します。ただし、沸き上がりの湯温は2通りとなります。
1．前日の沸かし直しの場合は、設定温度で停止します。
2．保温中など、おふろの湯温がほぼ設定温度かそれ以上の場合は、現在温度＋2℃（例えば、42℃の場合44℃）で停止します。
●さらにあつくしたいときはもう一度追いだきスイッチを押します。現在の湯温より2℃高く沸き上げます。沸き上げている途中でお好みの湯かげんになったらもう一度追いだきスイッチを押して停止してください。

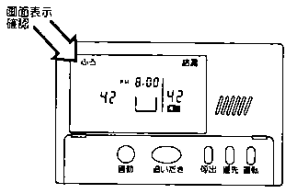
使用方法

ぬるく運転

ぬるく運転とは（浴室リモコンで操作）
●おふろのお湯があつく、ぬるくするときに操作します。
●約120ℓ水を入れてから自動停止し、その後1分間のかくはんを行います。この操作によりおふろがぬるくなります。
●もっとぬるくしたいときは、もう一度「ぬるく」スイッチを押して下さい。

1 給湯湯温が表示されていること（「運転」スイッチが「入」）を確かめます。

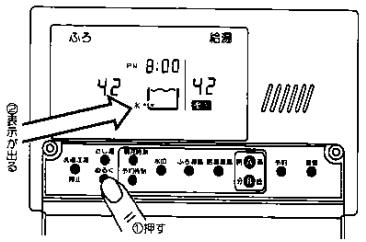
●表示が出ていないときは、「運転」スイッチを押します。



2 浴室リモコンのふたを開け

「ぬるく」スイッチを押します。

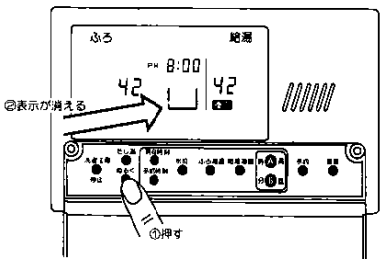
●画面に「♨」が表示され、しばらくしておふろの循環口から水が出てきます。



3 お好みの湯かげんになったら

「ぬるく」スイッチを押します。

●「♨」表示が消えます。
（ぬるく停止の操作をしない場合は、約120ℓ水を入れ続けてから自動停止し、その後1分間のかくはんを行います。かくはん後、「♨」の表示が消えます。）
●ふたを確実に閉じます。



ご注意
●自動運転中（終了ブザーが鳴り終わるまで）は、「ぬるく」スイッチは使用できません。
（スイッチを押すと、警告音「ピッ・・・・」（ピッが5回）が鳴ります。）

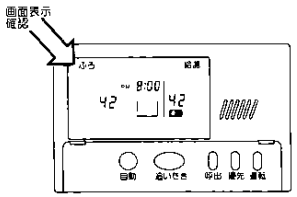
使用方法

たし湯運転

たし湯運転とは
- おふろのお湯の量を増やしたいときに操作します。
- 「ふろセット湯量」のお湯が約２４ℓ、おふろにたし湯されます。

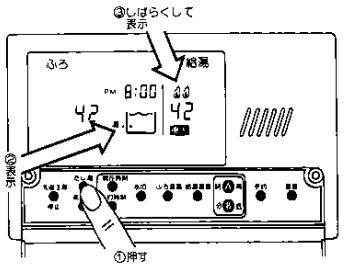
1 給湯湯温が表示されていること（「運転」スイッチが「入」）を確かめます。

- 表示が出ていないときは、「運転」スイッチを押します。



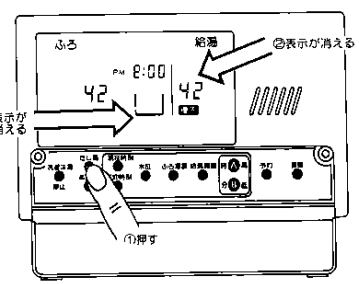
2 浴室リモコンのふたを開け「たし湯」スイッチを押します。

- 画面に♨が表示され（浴室リモコン）、しばらくしておふろの循環口から湯が出てきます。このとき「給湯燃焼表示」（🔥🔥）（浴室リモコン）が表示されます。台所リモコンは、「給湯燃焼ランプ」が点灯します。



3 お好みのお湯入れ量になったら「たし湯」スイッチを押します。

- ♨表示が消え、「給湯燃焼表示」（🔥🔥）（浴室リモコン）、「給湯燃焼ランプ」（台所リモコン）が消えます。
  たし湯運転停止の操作をしないときは、約２４ℓたし湯し、その後自動的に１分間のかくはんを行います。かくはん後♨の表示が消えます。
- ふたを確実に閉じます。



ご注意
- 自動運転中（終了ブザーが鳴り終わるまで）は、「たし湯」スイッチは使用できません。
  （スイッチを押すと、警告音「ピッ・・・・」（ピッが５回）が鳴ります。）

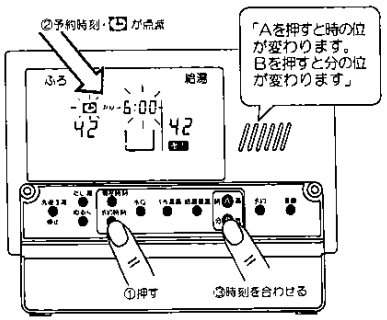
使用方法

予約時刻の合わせかた

- 「運転」スイッチの「入・切」に関係なくセットできます。
- リモコンの表示画面の現在時刻が合っているか確認してください。現在時刻が合っていない場合は、１９ページを見て合わせてください。
- 予約時刻は沸き上げが完了する時刻です。

1 浴室リモコンのふたを開け「予約時刻」スイッチを押します。

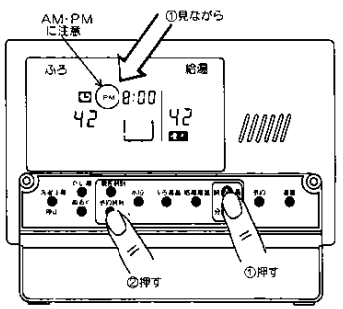
- 「予約時刻」が表示され、時計の数字・🕐が点滅します。
- 音声ガイドが２回流れます。



2 予約時刻を合わせます。

AM（午前）・PM（午後）に注意して押してください。スイッチを押し続けると連続的に数字が変わります。

1. 浴室リモコンの「時Ⓐ高」スイッチを押して時の位を合わせます。
   「分Ⓑ低」スイッチを押して分の位を合わせます。
2. 「予約時刻」スイッチを押します。
   - 時刻表示の点滅が止まり、３秒後現在時刻に変わります。
3. ふたを確実に閉じます。



ふろの予約運転

おふろ沸かし予約運転とは
●予約時刻をセットしておけばその時刻に入浴できるよう、機器が自動でおふろを沸かします。
（どちらのリモコンでも予約運転できます。）

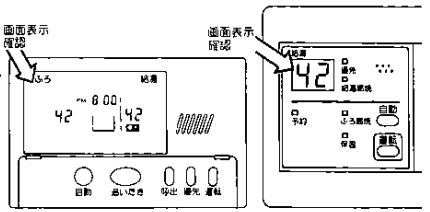
●浴槽の排水栓が閉まっていることとふたを閉めてあることを確認してください。
●現在時刻、予約時刻を確認してください。
●ふろの湯温設定・水位設定を確認してください。
●セットした予約時刻は記憶されていますので入浴する時刻が決まっているときは予約時刻を毎日セットする必要はありません。
●予約運転で、おふろを沸かしたときも保温・たし湯動作はします。

1

リモコン画面に

給湯湯温が表示されていること（「運転」スイッチが「入」）を確かめます。

●表示が出ていないときは、「運転」スイッチを押します。



2

リモコンのふたを開け

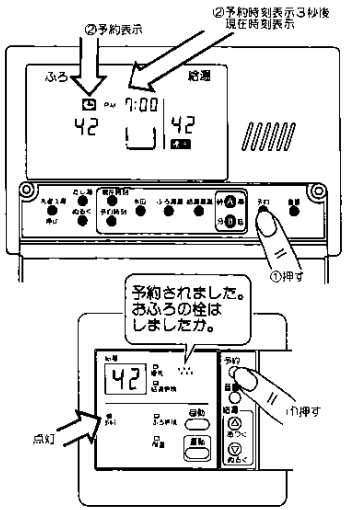
1．「予約」スイッチを押します。

●🕒が表示されます。
（台所リモコンは「予約ランプ」が点灯し、音声ガイドが流れます。）
●予約時刻が表示されますが、３秒後には現在時刻表示に変わります。

2．ふたを確実に閉じます。

●予約表示が表示された後は、「運転」スイッチを「切」にしても、予約運転をします。このとき🕒と現在時刻のみ表示されます。（台所リモコンは「予約ランプ」点灯。）
●予約時刻の約４０分前からふろ自動運転が始まり、予約時刻にはおふろに入れます。

水温や浴槽の大きさにより、お湯はり完了時刻が前後することがあります。



3

■予約を取り消したいときは

1．「予約」スイッチを押します。

●🕒の表示が消えます。（台所リモコンは、「予約ランプ」が消灯します。）
●すでに自動運転がはじまり、自動の表示がされているときは、「自動」スイッチを押します。
自動の表示が消えて運転が停止します。

■予約時刻を確認したいときは

1．「予約時刻」スイッチを押します。

●予約時刻表示が点滅しますので確認してください。

■予約時刻を変更したいときは

●「ふろの予約時刻の合わせかた」と同じ操作で変更できます。（３４ページ参照）

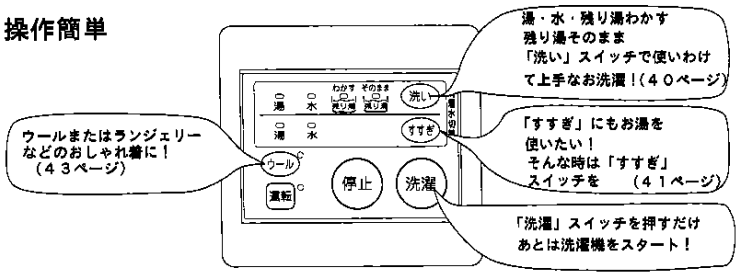
ご注意

●自動・追いだき・たし湯・ぬるく運転中は「予約」スイッチは、操作できません。
●予約をセットした後、「自動」・「追いだき」・「たし湯」・「ぬるく」スイッチを押すと予約が解除されますのでご注意ください。
●停電や電源プラグを抜いたことにより、５分以上通電が止まった後、再通電したときは、現在時刻や予約時刻が初期設定時間（現在時刻：ＡＭ１：００、予約時刻：ＰＭ６：００）になりますので、再セットが必要です。（１９ページ、３４ページ参照）
●予約した後に停電があると、予約が解除されます。（おふろ沸かしをしません。）

洗濯注湯

別売品の洗濯注湯リモコンを取り付けたお宅で使用できます。洗濯注湯には、次のような特長があります。

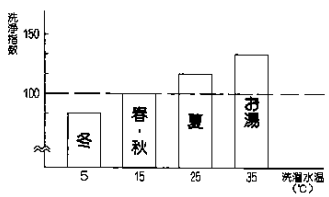
操作簡単



ここにもお湯！ いいことこんなに。

『お洗濯にもお湯』

1．汚れ落ち抜群



（当社実測値）

2．時間のかかるつけ置き洗いは不要

お湯を使いますと、つけ置きが必要なく、そのままお洗濯することができます。

時間のかかるつけ置き洗いも…

		洗い	すすぎ	脱水
水（15℃）	つけ置き120分	12分	18分	6分

お湯ならたったこれだけです!!

		洗い	すすぎ	脱水
お湯（35℃）	つけ置き不要	12分	18分	6分

（当社実測値）

3．洗剤のパワーがいかせるお湯洗濯

・洗剤が溶けやすい
・酵素パワーの活性化

4．ウール洗いも簡単

・今までやっかいだったウール洗いがお湯を使うことで、ご家庭で簡単にできます。

４３ページの《ウール洗いをする前のご注意》をよく読んでから洗濯をしてください。

5．省資源

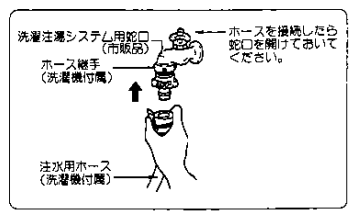
お洗濯に、おふろの残り湯を使うことができるので水の節約＝省資源になります。

お使いになる前に

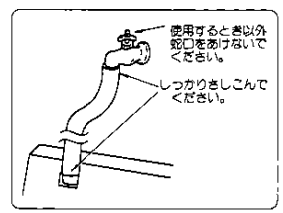
1 洗濯注湯用蛇口に注水用ホースが接続されているか確認します。

接続されていない場合は、接続してください。

●全自動洗濯機、止水機能付二槽式洗濯機の場合



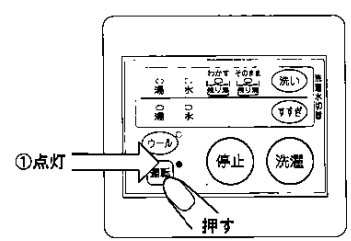
●二槽式洗濯機の場合



2 洗濯注湯リモコンの「運転」スイッチを押し「入」にします。

（浴室リモコンや台所リモコンのいずれかの「運転」スイッチを押しても「入」になります。）

●運転ランプが点灯します。



ご注意

●洗濯注湯リモコンと機器本体のリモコンとは連動していますので、洗濯注湯リモコンの「運転」スイッチを「切」にすると給湯やおふろ沸かしの運転も停止しますのでご注意ください。

洗濯注湯のしかた

●最初に電源を入れたとき、初期のモード設定は、「洗い」が湯、「すすぎ」が水になります。
●おふろ運転中（運転ランプ点滅中）は、使用できません。

洗濯注湯リモコンの

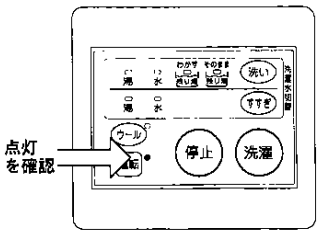
1 運転ランプが点灯しているか確認します。

運転ランプ（緑色）が点灯していない場合は

●「運転」スイッチを押します。

●運転ランプ（緑色）が点灯します。

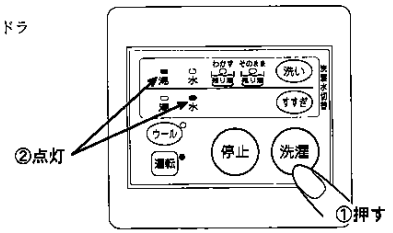
運転ランプが点滅している場合は、４５ページをご覧になって、点灯させてからご使用ください。（または、点灯にかわるまでお待ちください。）



洗濯注湯リモコンの

2 「洗濯」スイッチを押します。

●洗いモードランプの「湯」、すすぎモードランプの「水」が点灯します。



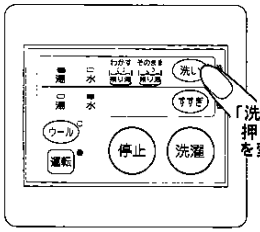
洗濯注湯リモコンの

3 「洗い」モードを設定します。

●「洗い」スイッチを押すごとに

「湯」（ランプ赤色）→「水」（ランプ緑色）→「残り湯わかす」（ランプ赤色）→「残り湯そのまま」（ランプ緑色）

の順で切り替わります。



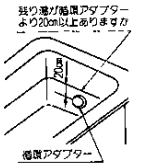
「洗い」スイッチを押して洗いモードを変更します。

（例；「洗い」が湯、「すすぎ」が水の場合）

一口メモ

●設定は記憶されますので、２回目以降、セットする必要はありません。

モード	特　徴	ご注意
湯	●約３８℃のお湯が注湯されます。	●シャワー、台所などでたくさんお湯を使用しますと、洗濯注湯量が少なくなり、水が注水される場合があります。 ●洗濯運転中に給湯栓を使用すると、浴室リモコンの設定給湯湯温のお湯が出ない場合があります。 浴室リモコンの設定給湯湯温 / 給湯栓の給湯湯温 ４５℃以上 / ４５℃ / ４５℃ ４５℃未満 / 浴室リモコンの設定給湯湯温 / 洗濯注湯湯温
水	●水道水が注水されます。	
残り湯わかす	●残り湯を約３８℃に沸かして注湯します。 ●残り湯がない場合は自動的に「湯」に変更されます。	●残り湯が３５℃以上の場合は、残り湯を沸かしません。 ●残り湯の温度が低い場合、お湯の温度が３８℃にならない場合があります。
残り湯そのまま	●浴槽の残り湯が注水されます。 ●残り湯がない場合は自動的に「水」に変更されます。	●浴槽の残り湯が循環アダプター中心より２０cm以上あるか確認してください。 ●循環アダプターのフィルターや、洗濯機の水入口フィルターがつまり、残り湯注湯量が極端に少なくなった場合も、「残り湯わかす」は「湯」、「残り湯そのまま」は「水」に変更されますのでフィルターの掃除を行ってください。また、洗濯機によっては断水アラームになるものもあります。この場合は、フィルターの掃除を行って洗濯機も再スタートさせてください。 ●残り湯を使用した場合、「湯」または「水」で洗濯したときよりも、満水になるまで時間がかかります。（容量５kg用洗濯機の標準水位（約５０ℓ）では、満水まで約９分かかります。）

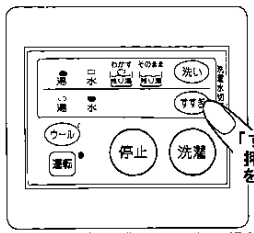


洗濯注湯リモコンの

4 「すすぎ」モードを設定します。

●「すすぎ」スイッチを押すごとに

「湯」 ⟶ 「水」
（ランプ赤色）（ランプ緑色）
↑ ↓
の順で切り替わります。



（例；「洗い」が湯、「すすぎ」が水の場合）

一口メモ

●設定は記憶されますので、２回目以降、セットする必要はありません。

モード	特　徴	ご注意
湯	●約３８℃のお湯が注湯されます。	●シャワー、台所などでたくさんお湯を使用しますと、洗濯注湯量が少なくなり、水が注水される場合があります。 ●洗濯運転中に給湯栓を使用すると、浴室リモコンの設定給湯湯温のお湯が出ない場合があります。
水	●水道水が注水されます。	

浴室リモコンの設定給湯湯温	給湯栓の給湯湯温	洗濯注湯湯温
４５℃以上	４５℃	４５℃
４５℃未満	浴室リモコンの設定給湯湯温	

5 洗濯機をスタートさせます。

■全自動洗濯機、（止水機能付二槽式洗濯機）をご使用の場合は…

●洗濯機に表示される洗濯終了までの残り時間は、あくまでも目安です。実際の時間とは異なります。
●洗い時間が３分以内ですと、「洗い」モードから、「すすぎ」モードへ移行しません。

１．自動的に注湯（水）をはじめます。

２．「洗い」モード、「すすぎ」モードの順に自動的にモードが切り替わります。

●ランプが点滅して、運転状態をお知らせします。
「洗い」モードで注湯（水）が始まると、「洗い」モードランプが点灯から点滅に変わります。
「すすぎ」モードで注水（湯）が始まると、「すすぎ」モードランプが点灯から点滅に変わります。

３．「すすぎ」モード終了後約１５分で自動停止となります。

●運転ランプのみの点灯になります。

■二槽式洗濯機をご使用の場合は…

●自動的に注水、止水はできません。洗濯注湯用蛇口の開け閉めが必要です。
●洗い時間が３分以内ですと、次にすすぎをするときに蛇口を開けても、「すすぎ」モードで選んだ湯（水）に切り替わりません。

１．洗濯注湯用蛇口を開けます。

●「洗い」モードで注湯（水）が始まると、「洗い」モードランプが点灯から点滅に変わります。

２．ご希望の水位で蛇口を閉めます。

３．洗濯をします。（洗濯機をまわします。）

４．次にすすぎをします。（洗濯注湯用蛇口を開けます。）

●「すすぎ」モードで注水（湯）が始まると、「すすぎ」モードランプが点灯から点滅に変わります。

５．すすぎが終了したら蛇口を閉めます。

６．約１５分後、洗濯注湯リモコンは自動停止し、運転ランプのみの点灯になります。

ご注意

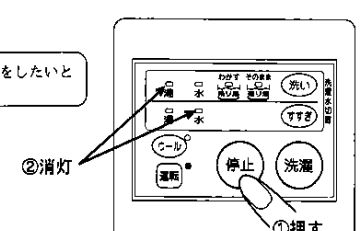
●洗濯機をスタートさせてから、または蛇口を開けてから注水が始まるまでに７０秒ぐらいかかることがありますが異常ではありません。
●「運転」スイッチを切る必要はありません。「運転」スイッチを切ると、給湯やおふろ沸かしができなくなります。
●ご使用の前に洗濯機の取扱説明書もお読みください。

洗濯注湯リモコンの

6 「停止」スイッチを押します。

●すすぎモード終了後約１５分で自動停止となりますが、「停止」スイッチを押しても、運転が停止します。
●運転ランプのみの点灯になります。

すぐに熱いお湯を使いたい、おふろ沸かしをしたいときなどに押してください。



（例；「洗い」が湯、「すすぎ」が水の場合）

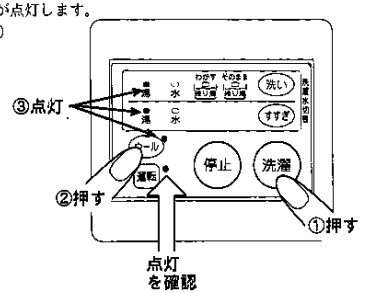
「ウール」洗濯モード

「ウール」洗濯モードとは…
●ウールまたはランジェリーなどを洗濯機で洗うときに、この「ウール」洗濯モードで「ウール」洗いをします。
●「ウール」洗濯モードでは、約３０℃のぬるま湯で洗い、すすぎをします。

《ウール洗いをする前のご注意》
●ウール洗いをする場合、洗濯機の取扱説明書をお読みください。
　１．洗濯できる衣類の種類を確認してください。
　２．衣類による洗濯機の洗濯コースを確認してください。
　３．洗濯機に衣類と合った洗濯コースがない場合は、ウール洗いはおやめください。
●洗剤は洗濯物の絵表示に示されている洗剤をお使いください。

■「ウール」洗いをしたいときは

１．運転ランプが点灯していることを確認します。
　●点灯していない場合は、「運転」スイッチを押します。
２．「洗濯」スイッチを押します。
３．「ウール」スイッチを押します。
　●ウールランプ（赤色）が点灯し、洗いモードランプおよびすすぎモードランプは、共に「湯」（赤色）が点灯します。
４．洗濯機をスタートさせます。（４１ページ）



ご注意
●「ウール」洗い中は、「洗い」スイッチ、「すすぎ」スイッチは受けつけません。
●「ウール」洗い中に給湯栓を使用すると、約３０℃のお湯が出湯されます。
●「ウール」洗い中は、機器本体の「自動」「追いだき」「ぬるく」「たし湯」運転はできません。
　「ウール」洗い中の入浴は避けてください。

その他の操作について

■洗濯運転を途中で止めたいときは

１．洗濯注湯リモコンの「停止」スイッチを押すか、浴室リモコンのふたを開け「洗濯注湯／停止」スイッチを押してください。
　●洗いモードランプ・すすぎモードランプが消灯します。
　●浴室リモコンの「洗濯注湯／停止」スイッチで停止させた場合は洗濯注湯リモコンの運転ランプが点滅します。
２．洗濯を再び行う場合は、洗濯注湯リモコンの運転ランプが点灯しているのを確認して、「洗濯」スイッチを押してください。
　（運転ランプの点滅については４５ページ参照）
　●洗濯注湯リモコンは「洗い」モードから始まります。
　●洗濯機を再スタートさせてください。

ご注意
●洗濯機によっては断水アラームになるものもあります。この場合洗濯機も再スタートさせてください。

■一度選んだ「洗い」モード、「すすぎ」モードを途中で変えたいたいときは

●洗濯運転中でも、「洗い」スイッチ、「すすぎ」スイッチを押せば、モードは切り替えられます。

■「洗い」を２回行いたいときは

●洗濯液を２度使う場合には、洗濯機の取扱説明書をよくお読みください。
●１回目は汚れの少ないものを洗いますと洗剤を補充しなくてもすみます。

１．洗濯機に洗剤と１回目の洗濯物を入れ、取扱説明書の３９ページに従って洗濯します。
２．洗い終わりましたら、１回目の洗濯物を取り出し、２回目の洗濯物を入れます。
３．「洗濯」スイッチを押します。
　●この場合、「洗い」「すすぎ」モードで使用する水の種類は、１回目と同じになります。
　変更する場合は、４０・４１ページをご覧ください。
４．洗濯機をスタートさせます。
５．脱水（二槽式の場合すすぎ）が終わりましたら、１回目の洗濯物を入れ、すすぎから始めてください。

洗濯の予約運転を行うときは

●全自動洗濯機などの予約洗濯を行う場合、洗濯注湯リモコンの操作は変わりませんが、次のように操作してください。

1．洗濯機の予約操作を行います。

2．洗濯注湯リモコンの「洗濯ボタン」を押します。

3．「洗い」モードを「湯」または「水」に選択してください。

●「残り湯わかす」「残り湯そのまま」を選択された場合でも、「残り湯わかす」は「湯」に、「残り湯そのまま」は「水」に自動的にセットされます。

ご注意

●洗濯機の予約中に外気温が低くなり、機器本体の凍結予防が作動しますと、洗濯注湯リモコンが停止して、運転ランプが点滅し洗濯できなくなります。（45ページ）

●冬期凍結の恐れがあるときに洗濯機の予約運転を行う場合は洗濯注湯用以外の蛇口を利用してください。

洗濯注湯リモコンの運転ランプが点滅している場合

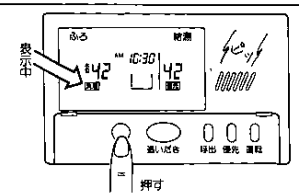
（洗濯注湯リモコンの運転ランプが点滅中は洗濯注湯リモコンが使用できません。）

このようなときには運転ランプが点滅します。	処　置
機器本体が「自動」「追いだき」「ぬるく」「たし湯」運転中。	機器本体の「自動」「追いだき」「ぬるく」「たし湯」運転終了までお待ちください。運転終了後に洗濯注湯リモコンの運転ランプは点滅から点灯に変わります。
浴室リモコンから「洗濯注湯／停止」スイッチを押して洗濯運転を止めた場合。	洗濯注湯リモコンの「運転」スイッチを押して運転「切」にします。再度「運転」スイッチを押して運転「入」にします。「洗い」モードから始まりますので、洗濯機も再スタートさせてください。
機器本体が凍結予防運転中。	浴槽の残り湯を排水してください。 およそ１５分後に洗濯注湯リモコンの運転ランプは点滅から点灯に変わります。
機器本体または洗濯注湯の故障。 （浴室または台所リモコンの画面にアラーム表示がされます。）	５１ページの「故障かな？」の項目をお読みになって、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガス支社に修理を依頼してください。

洗濯運転中に機器本体の「自動」「追いだき」「ぬるく」「たし湯」運転を行いたいときは…

洗濯運転中（浴室リモコンに 洗濯 が表示されます。）は「自動」「追いだき」「ぬるく」「たし湯」スイッチを押しても、それぞれの運転は行いません。

●浴室リモコンのスイッチを押すと「ピッ」音が５回鳴ります。



●洗濯運転終了後、「自動」「追いだき」「ぬるく」「たし湯」運転を行ってください。

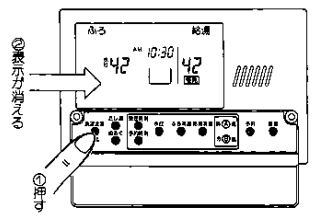
●すぐに行いたいときは、下記の操作を行ってください。

浴室リモコンの「洗濯注湯／停止」スイッチ、（あるいは、洗濯注湯リモコンの「停止」スイッチ）を押し洗濯運転を停止してから、それぞれの運転を行ってください。

1．浴室リモコンの「洗濯注湯／停止」スイッチを押します。

● 洗濯 表示が消え、洗濯注湯リモコンの運転ランプが点滅し、洗濯注湯が停止します。

2．浴室リモコンの「自動」「追いだき」「ぬるく」「たし湯」のいずれかのスイッチを押してください。



■その後再び洗濯を行う場合は、洗濯注湯リモコンの「運転」スイッチを一度「切」にして、再度「運転」スイッチを「入」にしてから「洗濯」スイッチを押してください。

●洗濯注湯リモコンは「洗い」モードから始まります。

●洗濯機を再スタートさせてください。

ご注意

●洗濯機によっては断水アラームになるものもあります。この場合、洗濯機も再スタートさせてください。

洗濯運転中におふろの予約運転を行うときは

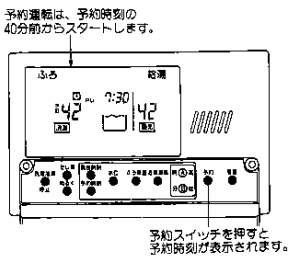
洗濯運転中（浴室リモコンに 洗濯 が表示）は、おふろの予約はできません。
●「予約」スイッチを押すと警告音「ピッ」音が5回鳴ります。

●洗濯運転終了後、おふろの予約を行ってください。
●すぐに行いたいときは、下記の操作を行ってください。

浴室リモコンの「洗濯注湯／停止」スイッチ、（あるいは、洗濯注湯リモコンの「停止」スイッチ）を押し洗濯運転を停止してから、おふろの予約運転を行ってください。

1．浴室リモコンのふたを開け「洗濯注湯／停止」スイッチを押します。
● 洗濯 表示が消え、洗濯注湯リモコンの運転ランプが点滅し、洗濯注湯が停止します。

2．浴室リモコンの「予約」スイッチを押し、予約運転を行います。



■その後再び洗濯を行う場合は、
洗濯注湯リモコンの「運転」スイッチを一度「切」にして、再度「運転」スイッチを「入」にしてから「洗濯」スイッチを押してください。
●洗濯注湯リモコンは「洗い」モードから始まります。
●洗濯機を再スタートさせてください。

ご注意
●洗濯機によっては断水アラームになるものもあります。この場合洗濯機も再スタートさせてください。

凍結による破損予防

冬季の凍結による破損予防の方法は

●機器が凍結すると、給湯ができないばかりでなく水漏れ故障の原因になります。
●この機器の凍結予防方法は次の３つのケースでやり方が変わります。
①凍結予防装置による方法
②水を流す方法
③機器の水を抜く方法（入居前や長期不在の場合）

1 凍結予防装置による方法

●この機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒーターと自動的に浴槽の水（湯）を循環して機器内や追いだき配管の凍結を予防する自動凍結予防装置がついています。
通常は機器の電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば、機器内の凍結は予防できます。
●自動凍結予防装置は「運転」スイッチの「入」・「切」に関係なく作動します。
●浴槽の残り湯はすてないで、そのままにしておいてください。
●電源プラグがコンセントに差し込まれている
ことを確認してください。
抜けていると凍結予防装置が作動しませんの
でご注意ください。

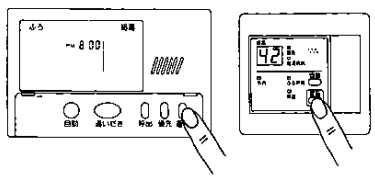
ご注意
●電源プラグがコンセントから抜かれていると作動しませんのでご注意ください。
●この方法では、機器内の凍結を予防できても配管は凍結することがありますので、配管は必ず保温材や電気ヒーターを巻くなどの措置をしてください。
●次の朝、お使いになるときは給湯栓を開けて、水が出ることを確認してから運転スイッチを「入」にしてください。
●凍結予防装置が凍結を予防できるのは外気温－１５℃程度までですので特に寒いときや寒波などが予想されるときは、はやめに「水を流す方法」「機器の水を抜く方法」による凍結予防の処置を行ってください。

2 水を流す方法

●この場合は，機器本体だけでなく給水給湯配管・バルブ類の凍結予防もできます。

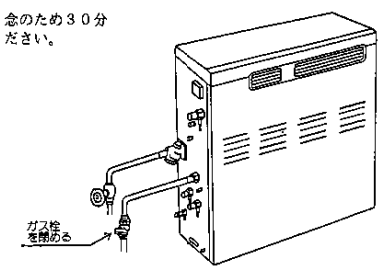
■給湯側の凍結予防

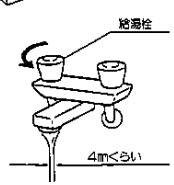
①「運転」スイッチを「切」にします。



②ガス栓を閉めます。

③浴室の給湯栓を開け、１分間に約２００cc（牛乳ビン１本ぐらい）を流し続けます。
流量が不安定なことがありますので、念のため３０分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。





■ふろ側の凍結予防

●この機器には外気温が下がってくると自動的にポンプが運転して、凍結を予防する装置を組み込んでいます。
●浴槽の残り湯は捨てないで、そのままにしておいてください。
●電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。抜けていると凍結予防装置が作動しませんのでご注意ください。

3 機器の水を抜く方法（入居前や長期不在の場合）

●長期不在等で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や電源プラグを抜く場合には、この水抜き凍結予防方法によります。

①ガス栓 1 を閉めます。
②給水元栓 2 を閉めます。
③すべての給湯栓を全開にします。
④浴槽の水をすべて排水します。
⑤浴室リモコンの「運転」スイッチを「入」にします。

▼

「追いだき」スイッチを５秒間押し続けます。

▼

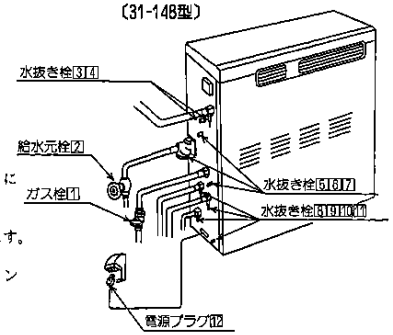
受付け音「ピッピッ」が鳴り「追いだきランプ」が点滅します。

▼

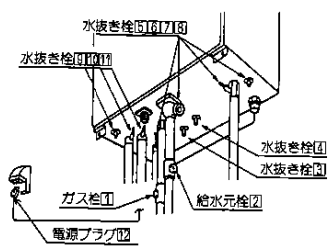
しばらくすると完了音「ピッピッ・・・」（１０回）が鳴ります。

⑥すべての水抜き栓 3 ～ 11 （９ケ所）を外します。
⑦電源プラグ 12 を抜きます。

〔31-148型〕



〔31-106型〕



●以上の操作で機器内の水は排水されますので、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

⑧機器を再使用するときは・・・
1）すべての水抜き栓 3 ～ 11 （９ケ所）を閉めます。
2）すべての給湯栓を閉めます。
3）給水元栓 2 を開けて、すべての給湯栓から水が出るのを確認します。水漏れがないか確認してください。
4）ガス栓 1 を開ける。
5）電源プラグ 12 をコンセントへ差し込みます。
6）リモコンのセットをしなおします。

凍結したときは

●凍結した場合、ガス栓・給水元栓を閉めてください。凍結したまま運転操作をしますと機器に異常が生じる場合があります。運転スイッチ「切」の状態で給湯栓を開けて水が出てくればご使用になれます。
●通水したら、一旦水漏れがないことを確認のうえ、ご使用ください。
●機器や配管が破損しますと高額の修理費用がかかる場合があります。（有料）

故障かな？

一度確認してください

現　象	点検項目
画面に表示が出ない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか　（18ページ）
	停電していませんか　（7ページ）
アラーム番号「032」「542」が点滅（台所リモコンは、「03」「54」と「ふろ燃焼ランプ」が点滅）し、動作しない	給水元栓が全開になっていますか　（18ページ）
	断水していませんか
	おふろの排水栓はしっかりはまっていますか　（24ページ）
「給湯燃焼表示」（🔥🔥）「給湯燃焼ランプ」が点灯しない お湯が出ない	ガス栓が全開になっていますか　（18ページ）
	給水元栓が全開になっていますか　（18ページ）
	断水していませんか
	給湯栓が十分開いていますか　（23ページ）
高温のお湯が出ない 低温のお湯が出ない	給湯栓が十分開いていますか　（23ページ）
	湯温調節は適切ですか　（21・22ページ）
	混合水栓やサーモミキシングバルブをお使いの場合は、リモコンの給湯湯温を60℃にセットしてください。
「ふろ燃焼表示」（🔥🔥）「ふろ燃焼ランプ」が点灯しない	ガス栓が全開になっていますか　（18ページ）
	浴槽に水が入っていますか
おふろ使用中に消火した	ガス栓が全開になっていますか　（18ページ）
浴槽の水があつい（ぬるい）	ふろ湯温のセットは適切ですか　（25ページ）
浴槽の水が少ない（多い）	お湯入れ量のセットは適切ですか　（26ページ）
試運転時、設定水位で自動運転が終了しない	浴槽が空の状態で「自動」スイッチを押されましたか
「ふろ燃焼表示」（🔥🔥）「ふろ燃焼ランプ」がときどき点灯する	「洗濯注湯」（残り湯沸かす）運転中ではありませんか（ふろ燃焼をON・OFFさせて残り湯を沸かします。）
	保温運転中ではありませんか　（28ページ）
洗濯注湯リモコンの運転ランプが点滅している	「自動」「追いだき」「ぬるく」「たし湯」運転中は洗濯注湯できません。
	凍結予防運転中は洗濯注湯できません。
洗濯機に入る残り湯が極端に少ない	洗濯機の水入口フィルターの掃除を行ってください。

●このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、「浴室リモコンにアラーム番号が表示されたとき」（53ページ）の項目を参照してください。

次のような場合は故障ではありません

現象	原因と対策
給湯栓を絞りすぎて水になった	この機器は流水量が2．5ℓ／min以下になったときには消灯します。
夏期水温が高いとき低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違って、全く無害なものです。
寒い日排気口から白煙が出る	外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白煙となりますが、故障ではありません。
冬期など寒いとき追いだきのポンプが自動的に動く	凍結破損予防のため、ポンプの循環運転を行います。
給湯栓を開いてもすぐお湯が出てこない	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。
出湯停止後しばらくファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため約30秒間は回転しています。
自動スイッチを押した後お湯入れがときどき停止する	浴槽の中に正確にお湯入れをするための動作です。
運転終了後もしばらくポンプが回る	「ぬるく」・「自動」・「追いだき」・「たし湯」運転終了後、かくはんのためポンプがしばらく回ります。
時計表示が合っていない	停電後、再通電すると表示画面の時計表示がAM1：00になります。なお、水位・湯温表示・予約時刻も初期状態になりますので再設定してください。
保温中ときどきポンプが回る	浴槽の湯温を検知するため30分毎に回ります。
給水側の水抜き栓から水が出る（31－106型の場合）	給水側の水抜き栓は、過圧防止安全装置をかねています。水の圧力を逃すために水が出る場合があります。

浴室リモコンにアラーム番号が表示されたとき

●不具合が生じたとき、その原因をアラーム番号でお知らせします。原因に応じて表示部にアラーム番号が表示点滅し、自動的に運転が停止します。
●アラーム番号が表示、点滅したときは、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガス支社へご連絡ください。そのときは、表示されてるアラーム番号もお知らせください。
：（例）１２：１５（時計表示）→１１１（アラーム表示）

アラームNO.	内容	処置方法	使用状態
０３０	未対応ガス種選択	修理を依頼する	
０３２	注湯時間異常	おふろの排水栓を確認後リセット※	自動・追いだき
０５２	ふろ出サーミスタ高温検出	修理を依頼する	追いだき・洗濯
１１１	給湯側点火不良	ガス栓確認後リセット操作※	給湯・自動・たし湯・洗濯
１１２	ふろ側点火不良		自動・追いだき・洗濯
１２１	給湯側失火	修理を依頼する	給湯・自動・たし湯・洗濯
１２２	ふろ側失火		自動・追いだき・洗濯
１４０	空だき安全装置作動、電磁弁ＯＦＦ		給湯・自動・たし湯・追いだき・洗濯
２５２	ふろ水流ＳＷ異常		自動・追いだき・洗濯
３０２	ふろ入・出サーミスタ誤配線		自動
３１１	出湯温サーミスタ断線		給湯・自動・たし湯・洗濯
３１２	ふろサーミスタ断線		自動・追いだき・洗濯
３２１	入水温サーミスタ断線		給湯・自動・たし湯・洗濯
３２２	ふろ出サーミスタ断線		追いだき・洗濯
３３１	混合温サーミスタ断線		給湯・自動・たし湯・洗濯
３９１	サーモカップル異常		給湯・自動・たし湯・洗濯
４２２	注湯量センサー異常		自動・ぬるく・たし湯・洗濯
４３２	水位センサー異常		自動
５１０	元ガス電磁弁故障		給湯・自動・たし湯・追いだき
５４２	エアーパージ時間異常追いだき配管接続洗濯注湯切替弁異常		自動・ぬるく・たし湯・洗濯
５６１	バイパス水電磁弁異常		給湯・自動・たし湯・洗濯
５７２	往止水弁異常		自動・ぬるく・たし湯・洗濯
５８２	戻止水弁異常		自動・ぬるく・たし湯・洗濯
６１１	給湯燃焼ファン回転異常		給湯・自動・たし湯・追いだき・洗濯
６１２	ふろ燃焼ファン回転異常		給湯・自動・たし湯・追いだき・洗濯
６５１	水制御弁異常		給湯・自動・たし湯・洗濯
７００	電装基板故障		
７１１	給湯電磁弁回路不良		給湯・自動・たし湯・洗濯
７１２	ふろ電磁弁回路不良		自動・追いだき・洗濯
７２１	給湯側プリ・ポスト不良		給湯・自動・たし湯・洗濯
７２２	ふろ側プリ・ポスト不良		自動・追いだき・洗濯
７６０	リモコン通信異常		
７９２	切替弁回路不良		自動・ぬるく・たし湯・追いだき・洗濯
１０１	自己診断能力ダウン	修理を依頼する	給湯・自動・たし湯・洗濯
９９１	自己診断燃焼異常		給湯・自動・たし湯・洗濯

＊台所リモコンは、簡易表示のため、アラーム番号の左側２桁を表示・点滅します。給湯側の場合は、アラーム番号と給湯燃焼ランプが同時に点滅します。ふろ側の場合はアラーム番号とふろ燃焼ランプが同時に点滅します。ただし、アラーム番号１４０、５１０、７００、７６０の場合は燃焼ランプは点滅しません。
※リセット操作：「運転」スイッチを一度「切」にし、約５秒後再度運転スイッチを「入」にする。

安全装置の種類とその働き

●この機器には次の様な安全装置が組み込まれています。

●立消え安全装置（フレームロッド方式）…バーナーが正常に燃焼しないとき作動し、ガスを自動的に停止します。

●空だき安全装置（バイメタル式）…熱交換器が空だきしたときに作動し、燃焼を自動的に停止します。

●空だき防止装置（水量センサー・水流スイッチ）…熱交換器内に水がないとき、ガス通路を開けず空だきにならないようにします。

●過熱防止装置（温度ヒューズ）…機器内部の雰囲気温度が異常に高くなったとき、作動し、燃焼を自動的に停止します。

●過圧防止安全装置（スプリング式）…機器内の水通路内部の圧力が異常に高くなったとき作動し、圧力を水通路外に逃がします。

●漏電安全装置（漏電リレー）…万一漏電した場合、電源を「ＯＦＦ」にする装置です。

●送風検知装置（回転数検知方式）…燃焼用ファンモーターが正常に回転しないとき作動し、燃焼を自動的に停止します。

●凍結予防装置（電気ヒーター＋ポンプ運転）…機器内の雰囲気温が低下すると作動、機器内の凍結を予防します。

●誘導雷保護装置（サージアブソーバー）…雷等による一時的な過電流・過電圧が発生した場合、電子部品を保護します。

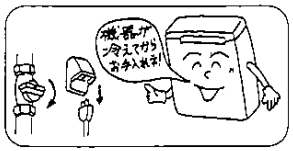
一口メモ

●このふろ給湯器の給湯能力は、２４号です。
（１号とは、水温より２５℃上げたお湯を１分間に１ℓ出す能力をいいます。
２４号とは、水温より２５℃上げたお湯を１分間に２４ℓ出す能力をいいます。）
●アラーム番号“１０１”のときは自己診断機能により給湯能力がさがります。（２４号から１２号）使用はできますが十分な給湯能力が出ない状態ですので修理を依頼してください。
（自己診断機能とは、ふろ給湯器のガスの燃焼が異常になった場合にその燃焼を正常にしようとする機能をいいます。自己診断機能が働いても燃焼が正常にならない場合は自動的に運転を停止します。）

点検とお手入れ

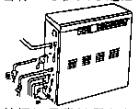
点検・手入れの際のご注意

●安全にお使いいただくために、点検・お手入れを必ず行ってください。
●お手入れの前にはガス栓を閉め、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。
●機器のフロントカバーを外さないでください。
（機器およびリモコンは絶対に分解しないでください。）

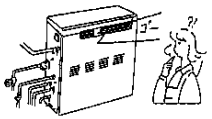


点　検　（図は、３１－１４８型を示す。）

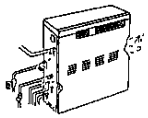
●機器および配管より水漏れはありませんか。
水漏れは、機器の故障だけでなく、お隣や階下のお客様にも多大な迷惑をかけます。



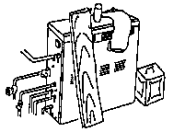
●運転中に機器から異常音が聞こえませんか。



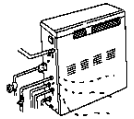
●機器の外観に異常は見られませんか。



●機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありませんか。



●機器や配管よりガスの臭気はありませんか。



●給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター（金網）を掃除してください。フィルターがつまりますと、お湯の量が少なくなり、点火しないことがあります。

●排気口への積雪や、屋根から落ちた雪により排気口が閉塞されていませんか。機器が不完全燃焼することがあります。積雪時には排気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が排気口を閉塞するおそれがある場合はお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガス支社に連絡し、設置場所を変更してください。

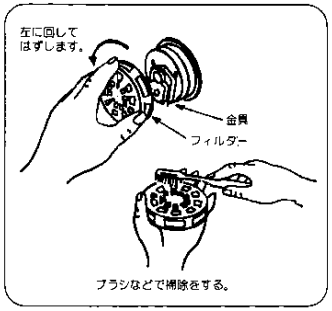
お手入れ

●本体が汚れたとき
布または、スポンジに台所用洗剤（中性洗剤）をつけて拭きとってください。中性以外の洗剤やベンジン、シンナーなどで拭くと塗料が変色することがあります。

●リモコンが汚れたとき
水をつけた布をかたく絞り、軽く拭きとってください。洗剤、ベンジン、シンナーなどでは拭かないでください。（注）台所リモコンには水をかけないでください。リモコン内に水が入り故障の原因となります。（浴室リモコンは防水です。）

フィルターの洗浄について

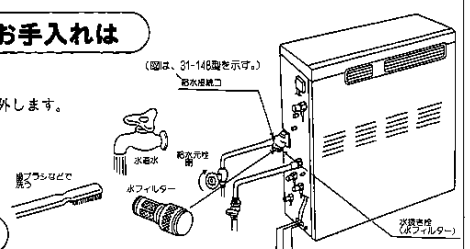
●浴槽を掃除するときはフィルターも掃除してください。フィルターには、湯アカや毛、タオルのくずなどが意外と多くたまるものです。フィルターの汚れがひどいと循環量が弱まったり、ひどいときには追いだきもできなくなります。
●フィルターはネジ式で固定されており、左に回せばはずせます。



フィルターは必ず取り付けてご使用ください。フィルターを付けないで運転するとポンプ等の故障の原因になります。

給水側水フィルターのお手入れは

つぎの 要領で定期的に行ってください。
（１）給水元栓を閉めます。
（２）給水接続口にある水フィルターを外します。
（３）水フィルターを洗います。
（４）水フィルターをもとに戻します。



点検・手入れ後の確認

●点検・お手入れの後は、ガス栓を開いて、「運転」スイッチを「入」にして給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。万一、異常な燃焼・臭気・異常音を感じられたときは、使用を中止し、ガス栓を閉めてお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガス支社へご連絡ください。

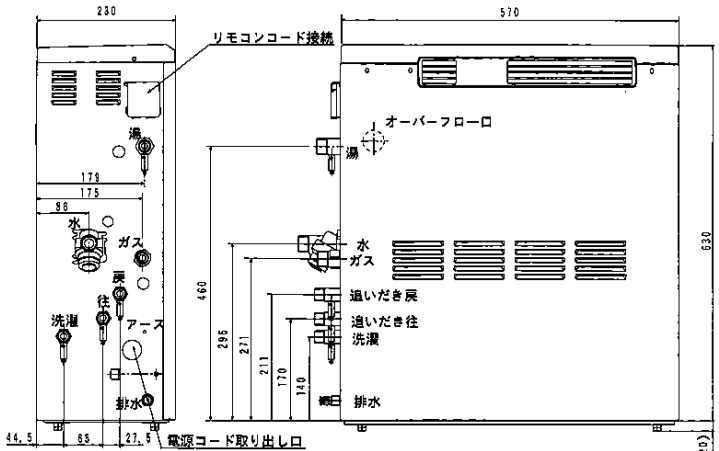
定期点検のおすすめ

●ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年１回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店にご相談ください。
●機器が古くなると熱交換器やバーナーにサビやスス、ほこり等がつまったりします。また取り付け場所によりバーナーに「くも」が巣をはることがあります。このような場合不完全燃焼を起こすことがあり、ときどき使用中に異常（異常音、排気に不快な臭い、目にしみる等）がないか確認してください。異常に気づかれた場合は使用を中止し、ガス栓を閉めてお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガス支社へご連絡ください。

寸法図

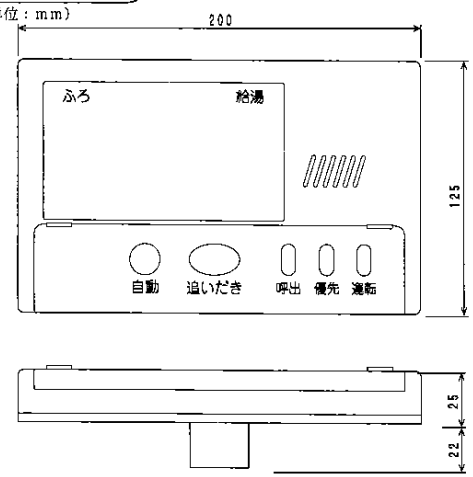
機器本体［３１－１４８型］

（単位：ｍｍ）



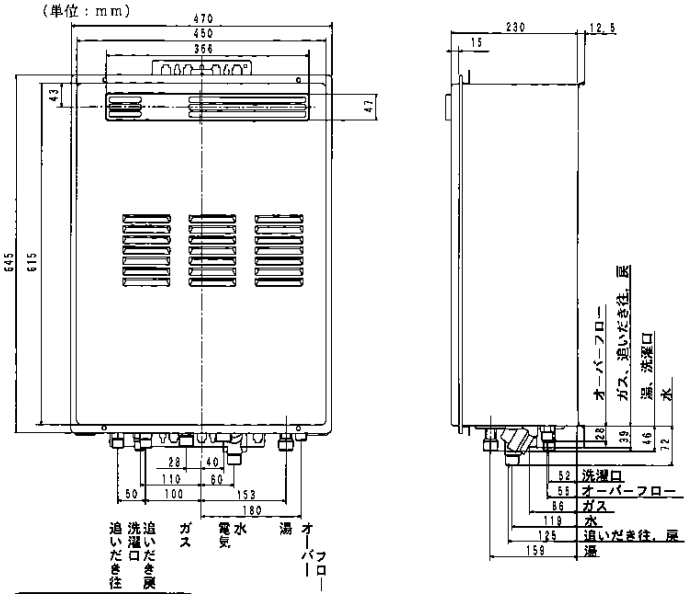
浴室リモコン

（単位：ｍｍ）



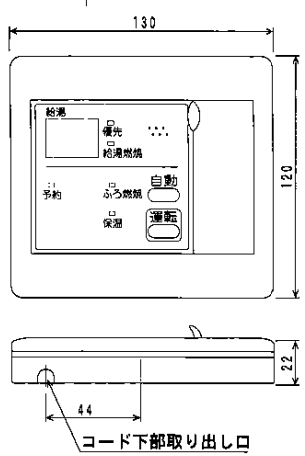
機器本体［３１－１０６型］

（単位：ｍｍ）



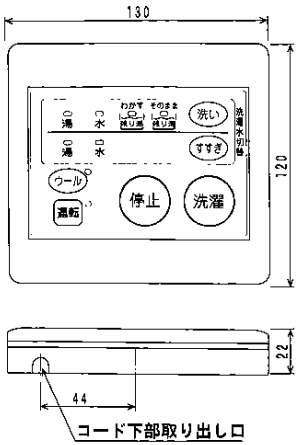
台所リモコン

（単位：ｍｍ）



洗濯注湯リモコン

（単位：mm）



仕様

品名			31－148型	
型式名			TP－FP245AZR	
ガス種			LPG	都市ガス（13A）
外形寸法（mm）			幅570×奥行230×高さ650	
重量（kg）			41	
標準ガス消費量 kW {kg／h}	給湯側		52．5｛3，75｝	52．3｛45，000｝
	追いだき側		12．6｛0，9｝	12．8｛11，000｝
	同時使用		65．1｛4，65｝	65．1｛56，000｝
出湯能力（ℓ/min）	上昇温度	25℃	24．0	24．0
		40℃	15．0	15．0
		50℃	12．0	12．0
温度調節	給湯側	浴室リモコン	温度設定可変型	
		台所リモコン	温度設定可変型	
	ふろ側		温度設定可変型	
点火方式			AC100V連続放電式（ダイレクト着火）	
最低作動水圧（kPa）			19．6｛0．2kgf／cm²｝	
材質	本体外装／塗装		溶融亜鉛メッキ鋼板／粉体焼付塗装	
	排気部／給気部		ステンレス鋼板／溶融亜鉛メッキ鋼板	
	熱交換器／バーナー		脱酸銅／ステンレス鋼板	
接続	ガス		20A（R3／4）オネジ	
	給水・給湯		20A（R3／4）オネジ	
	追いだき往・戻		15A（R1／2）オネジ	
	残り湯利用口		15A（R1／2）オネジ・閉キャップ付	
電気関係	電源		AC100V（60Hz）	
	リモコン側		24V以下	
	消費電力	無負荷時	20W以下	
		同時使用	200W	
		凍結予防時	電気ヒーター給湯側160W・追いだき側60W・同時220W・ポンプ運転120W	
安全装置	給湯側水流検知（水量センサー）		過熱防止装置（温度ヒューズ）	
	立消え安全装置（フレームロッド方式）		給湯側送風検知装置（回転数検知方式）	
	空だき安全装置（バイメタル式）		ふろ側送風検知装置（回転数検知方式）	
	凍結予防装置（電気ヒーター）		給湯側過圧防止安全装置（スプリング式）	
	漏電安全装置（漏電リレー）		誘導雷保護装置（サージアブソーバー）	
日水協認可登録番号			共A－7156	

◎ガス：ＪＩＳに規定する標準ガス・標準圧力のとき。
◎出湯能力は、水圧196kPa｛2kgf／cm²｝のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。
◎本使用は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

品名			31－106型	
型式名			TP－SP245AZR	
ガス種			LPG	都市ガス〔13A〕
外形寸法（mm）			幅470×奥行230×高さ645	
重量（kg）			40	
標準ガス消費量 kW {kg／h}	給湯側		52．5｛3．75｝	52．3｛45，000｝
	追いだき側		12．6｛0．9｝	12．8｛11，000｝
	同時使用		65．1｛4．65｝	65．1｛56，000｝
出湯能力（ℓ／min）	上昇温度	25℃	24．0	24．0
		40℃	15．0	15．0
		50℃	12．0	12．0
温度調節	給湯側	溶室リモコン	温度設定可変型	
		台所リモコン	温度設定可変型	
	ふろ側		温度設定可変型	
点火方式			AC100V連続放電式（ダイレクト着火）	
最低作動水圧（kPa）			19．6｛0．2kgf／cm²｝	
材質	本体外装／塗装		溶融亜鉛メッキ鋼板／粉体焼付塗装	
	排気部／給気部		ステンレス鋼板／溶融亜鉛メッキ鋼板	
	熱交換器／バーナー		脱酸銅／ステンレス鋼板	
接続	ガス		20A（R3／4）オネジ	
	給水・給湯		20A（R3／4）オネジ	
	追いだき往・戻		15A（G1／2）オネジ	
	残り湯利用口		15A（R1／2）オネジ・閉キャップ付	
電気関係	電源		AC100V（60Hz）	
	リモコン側		24V以下	
	消費電力	無負荷時	20W以下	
		同時使用	200W	
		凍結予防時	電気ヒーター給湯側175W・追いだき側60W・同時235W・ポンプ運転120W	
安全装置			給湯側水流検知（水量センサー） 立消え安全装置（フレームロッド方式） 空だき安全装置（バイメタル式） 凍結予防装置（電気ヒーター） 漏電安全装置（漏電リレー）	過熱防止装置（温度ヒューズ） 給湯側送風検知装置（回転数検知方式） ふろ側送風検知装置（回転数検知方式） 給湯側過圧防止安全装置（スプリング式） 誘導管保護装置（サージアブソーバー）
日水協認可登録番号			共A－7133	

◎ガス：ＪＩＳに規定する標準ガス・標準圧力のとき。
◎出湯能力は、水圧196kPa｛2kgf／cm²｝のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。
◎本使用は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

アフターサービスについて

■長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は次の操作をしてください。
（1）ガス栓を閉じる。
（2）給水元栓を閉じる。
（3）電源プラグを抜く。
（4）機器の水抜きを行う。（水抜き方法は50ページを参照してください。）

■アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

①まず「故障かな？」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店または最寄りの大阪ガス支社にご連絡ください。
②アフターサービスをお申しつけのときは、次のことをお知らせください。
1．ご住所・お名前・電話番号・道順（付近の目印等）
2．品名…31－148型
31－106型
（右のようなラベルを機器の前面部に貼付けてあります。）
3．現象…できるだけ詳しく
4．訪問ご希望日

（N）31－148（U）
大阪ガス株式会社 03

（N）31－106（U）
大阪ガス株式会社 03

転居される場合

●ガスの種類には、都市ガスとＬＰガスとがあり都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。

保証について

●このガスふろ給湯器には保証書がついています。
●保証書に記載のように、ガスふろ給湯器の故障について修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
●保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
●保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によっては性能が維持できる場合は有料修理します。

補修用性能部品の最低保有期間について

●補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は製造打切後10年です。
その後の修理は、補修用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。